

H20-④-6

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-④-6

孔 口 標 高	T. P.	33.16m	掘 削 長	35.00m
---------	-------	--------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R (%)	Q (%)	D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
												最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q	
	32.64	0.52	①	砂	褐	④	100								0.00~0.52m
	32.12	1.04		砂混じりシルト	にぶい黄橙		100	3	0						・細粒砂である。 ・植物根を含む。
	30.90	2.28		砂	浅黄		100								52~1.04m
	30.48	2.70		砂混じりシルト	橙		100	8	0						・砂混じりシルトである。 0.04~2.26m
	28.00	5.16	②	花崗斑岩	淡赤橙	CL'	100	6	0						・砂礫である。 ・径2~12cm程度の花崗岩類の礫と粗粒砂の基質からなる。
					黄橙		100	7	0						2.26~2.70m
					にぶい橙		100	9	0						・シルト混じり砂である。
					橙		100	7	0						2.70~5.16m
					淡橙		100	4	0						・花崗斑岩である。
10				アプライト	淡橙	D'	100	5	0						● 3.76~4.09m (f-④-6-1破砕帯)
					淡橙		100	1	0						・破砕部である。
					黄橙	CL'	100	5	0						・橙色の固結礫状部からなる。
					橙		100	5	0						・走向・傾斜はN60° W78° Sである。
					淡黄		100	5	0						・フィルム状の粘土を挟在する。
					黄橙	CL'	100	3	0						・上端境界の傾斜は76°、下端境界の傾斜は72°である。
					橙		100	3	0						5.09m
					淡黄	D'	100	5	0						・幅6mmの石英脈を挟む。
					黄橙	CL'	100	12	12						5.16~35.00m
					橙		100	3	0						・アプライトが主体である。
					淡黄	D'	100	5	0						・花崗斑岩との境界は漸移的である。
					黄橙	CL'	100	3	0						● 7.94~9.00m (f-④-6-2破砕帯)
					淡黄	D'	100	5	0						・破砕部である。
					黄橙	CL'	100	12	12						・赤褐色の固結礫状部からなる。
					橙		100	3	0						・走向・傾斜はN71° W79° Sである。
					淡黄	D'	100	5	0						・フィルム状の粘土を挟在する。
					黄橙	CL'	100	12	12						・上端境界の傾斜は75°、下端境界の傾斜は75°である。
20				アプライト	淡橙	CL'	100	8	0						0.65~11.10m
					淡橙		100	5	0						・変質している。
					黄橙	CL'	100	5	0						・礫状~灰白色粘土が網目状に分布する。
					橙		100	5	0						4.73~14.94m
					淡黄	D'	100	5	0						・変質している。
					黄橙	CL'	100	3	0						・マンガンと灰白色粘土が網目状に分布する
					橙		100	7	0						● 14.94~14.98m (f-④-6-3破砕帯)
					淡黄	D'	100	6	0						・破砕部である。
					黄橙	CL'	100	4	0						・左ずれ正断層センスである。
					橙		100	4	0						・主に淡橙色の固結粘土状部からなる。
					淡黄	D'	100	7	0						・淡桃色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm
					黄橙	CL'	100	7	0						・走向・傾斜はN55° E69° Sである。
					橙		100	6	0						・上端境界の傾斜は48°である。
					淡黄	D'	100	6	0						14.98~15.27m
					黄橙	CL'	100	4	0						・変質している。
					橙		100	6	0						・灰白色粘土とマンガンが網目状に分布する
					淡黄	D'	100	7	0						16.90~18.00m
					黄橙	CL'	100	11	11						・変質している。
					橙		100	11	11						・黄白色シルト状を呈する。
					淡黄	D'	100	7	0						18.00~18.43m、26.50~27.91m
					黄橙	CL'	100	4	0						・花崗斑岩である。
					橙		100	6	0						18.51~18.53m
					淡黄	D'	100	7	0						・変質している。
					黄橙	CL'	100	4	0						・灰黄色礫混じり粘土状を呈する。
					橙		100	6	0						22.10~22.13m
					淡黄	D'	100	7	0						・変質している。
					黄橙	CL'	100	4	0						・変質している。
					橙		100	6	0						・土砂状を呈する。
					淡黄	D'	100	7	0						23.38~23.59m
					黄橙	CL'	100	4	0						・変質している。
					橙		100	6	0						・変質している。
					淡黄	D'	100	7	0						・灰白色粘土が網目状に分布する。
					黄橙	CL'	100	4	0						24.26~24.40m
					橙		100	6	0						・変質している。
					淡黄	D'	100	7	0						・変質している。
					黄橙	CL'	100	4	0						・灰白色粘土が網目状に分布する。
					橙		100	6	0						25.20~25.50m
					淡黄	D'	100	7	0						・流理がみられる。
					黄橙	CL'	100	11	11						● 25.70~25.80m (f-④-6-4破砕帯)
					橙		100	6	0						・破砕部である。
					淡黄	D'	100	7	0						・淡橙色の固結礫状部からなる。
					黄橙	CL'	100	4	0						・走向・傾斜はN18° E77° Wである。
					橙		100	6	0						・フィルム状の粘土を挟在する。
					淡黄	D'	100	7	0						・上端境界の傾斜は78°である。
					黄橙	CL'	100	4	0						27.50~27.91m
					橙		100	6	0						・変質している。
					淡黄	D'	100	7	0						・割れ目が密集している。

- 1-314(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-315~1-317(分類d)②
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
- 1-318(分類c)③
表現を統一したため。
- 1-319(分類b)④
報告書の記載漏れを修正したため。

H20-④-6

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-④-6

孔 口 標 高	T. P.	33.16m	掘 削 長	35.00m
---------	-------	--------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	最 大 コ ア 長 (cm)	
	32.64	0.52		砂	褐		100					0.00~0.52m ・細粒砂である。 ・植物根を含む。 0.52~1.04m ・砂混じりシルトである。 1.04~2.26m ・砂礫である。 ・径2~12cm程度の花崗岩類の礫と粗粒砂の基質からなる。 2.26~2.70m ・シルト混じり砂である。 2.70~5.16m ・花崗斑岩である。 ●3.76~4.09m(f-④-6-1破碎帯) ・破碎部である。 ・橙色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN60° W78° Sである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は76°、下端境界の傾斜は72°である。 5.09m ・幅6mmの石英脈を挟む。 5.16~35.00m ・アフライトが主体である。 ・花崗斑岩との境界は漸移的である。 ●7.94~9.00m(f-④-6-2破碎帯) ・破碎部である。 ・赤褐色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN71° W79° Sである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は75°、下端境界の傾斜は75°である。 10.65~11.10m ・変質している。 ・礫状~灰白色粘土が網目状に分布する。 14.73~14.94m ・変質している。 ・マンガンと灰白色粘土が網目状に分布する。 ●14.94~14.98m(f-④-6-3破碎帯) ・破碎部である。 ・左ずれ正断層センスである。 ・主に淡橙色の固結粘土状部からなる。 ・淡桃色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm ・走向・傾斜はN55° E69° Sである。 ・上端境界の傾斜は48°である。 4.98~15.27m ・変質している。 ・灰白色粘土とマンガンが網目状に分布する 6.90~18.00m ・変質している。 ・黄白色シルト状を呈する。 18.00~18.43m, 26.50~27.91m ・花崗斑岩である。 18.51~18.53m ・変質している。 ・灰黄色礫混じり粘土状を呈する。 22.10~22.13m ・変質している。 ・土砂状を呈する。 23.38~23.59m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 24.26~24.40m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 25.20~25.50m ・流理がみられる。 ●25.70~25.80m(f-④-6-4破碎帯) ・破碎部である。 ・淡橙色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN18° E77° Wである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は78°である。 27.50~27.91m ・変質している。 ・割れ目が密集している。
	32.12	1.04		砂混じりシルト	にぶい黄橙		100	3	0			
	30.90	2.26		砂礫	浅黄		100					
	30.48	2.70		シルト混じり砂	橙		100	8	0			
	28.00	5.16		花崗斑岩	淡赤橙	CL'	100	6	0			
					黄橙	CL'	100	7	0			
					にぶい橙	CL'	100	9	0			
					にぶい橙	CL'	100	7	0			
					淡橙	D'	100	4	0			
					淡橙	D'	100	5	0			
				淡橙	CL'	100	5	0				
				黄橙	CL'	100	3	0				
				橙	D'	100	5	0				
				淡黄	D'	100	3	0				
	15.16	18.00		花崗斑岩	淡橙	CL'	100	12	12			
	14.73	18.43		花崗斑岩	淡橙	CL'	100	5	0			
				アフライト	淡橙	D'	100	8	0			
				アフライト	淡橙	D'	100	5	0			
				アフライト	淡橙	D'	100	5	0			
				アフライト	淡橙	D'	100	5	0			
				アフライト	淡橙	D'	100	3	0			
				アフライト	淡黄	D'	100	7	0			
				アフライト	淡黄	D'	100	6	0			
				アフライト	淡黄	D'	100	4	0			
	6.66	26.50	花崗斑岩	淡橙	CL'	100	7	0				
	5.25	27.91	花崗斑岩	淡橙	D'	100	6	0				
			アフライト	浅黄	CL'	100	4	0				
			にぶい黄橙	黄橙	CM'	100	11	11				

1-317(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
1-319(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

H20-④-6

柱状図(30.00m~35.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事					
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]						
		-1.84 35.00	+	ア プ ラ イ ト	に ふ い 黄 橙	① CL'	100	8	0		①	31.87~32.12m ・変質している。 ・割れ目沿いに灰白色粘土が分布する。					

1-319(分類b)①
 報告書の記載漏れを修正したため。

H20-④-7

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-④-7

孔 口 標 高	T. P.	43.46m	掘 削 長	45.00m
---------	-------	--------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事	
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q		D
		①		シルト質砂	黄褐	③	100	4	0				0.00~2.00m ・シルト質砂である。	
	41.46	2.00		花崗斑岩	黄橙	D'	100	5	0				2.00~3.47m ・花崗斑岩である。 ・土壌化が著しい。	
	39.99	3.47		アプライト	淡橙	CL'	100	6	0				3.47~6.70m ・アプライトである。 ・花崗斑岩との境界は漸移的である。	
	36.76	6.70		花崗斑岩			100	8	0					
	35.99	7.47		アプライト			100	9	0					
	34.43	9.03		花崗斑岩	淡橙	CL'	100	10	10				6.70~7.47m ・花崗斑岩である。	
	33.40	10.06		アプライト			100	13	13					7.47~9.03m ・アプライトである。
				淡赤橙	淡橙	CM'	100	7	0				8.85~8.95m ・レンズ状に花崗斑岩を挟む。	
				CM'			100	6	0					9.03~10.06m ・花崗斑岩である。
				CL'			100	11	11					10.06~34.00m ・アプライトである。
				CL'			100	13	13					10.84~16.84m ・幅1~10mmの石英脈を多数挟む。
				明褐灰	アプライト	D'	100	9	0					
				CL'			100	12	12					18.14~18.68m ・変質し、灰白色粘土が網目状に分布する。
				CM'			100	7	0					
				淡橙	にぶい黄橙	D'	100	8	0					
				CL'			100	15	15					22.75~23.53m (f-④-7-1 破碎帯) ・破碎部である。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部及び灰白色の固結粘土状部からなる。
				淡赤橙	にぶい黄橙	CL'	100	6	0				・暗褐色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm ・走向・傾斜はN53° W80° Sである。	
				CM'			100	10	10					・上端境界の傾斜は75°、下端境界の傾斜は58°である。
				淡橙	淡橙	CM'	100	22	55					
				CH'			100	14	27					
				CM'			100	13	36					
							100	15	25					

- 1-320(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-321(分類d)②
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-322(分類b)③
報告書の記載漏れを修正したため。

H20-④-7

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-④-7

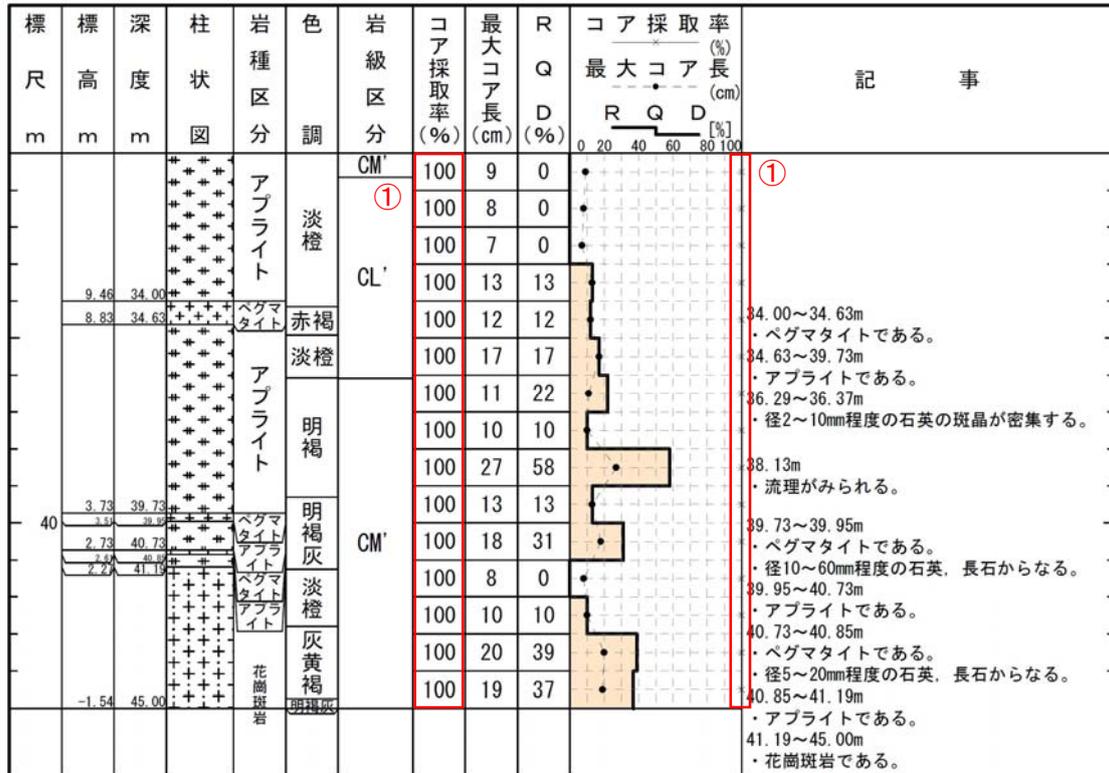
孔 口 標 高	T. P.	43.46m	掘 削 長	45.00m
---------	-------	--------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事	
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q		D
10	41.46	2.00	シルト質砂	黄褐	D'	100	4	0	<ul style="list-style-type: none"> 0.00~2.00m ・シルト質砂である。 2.00~3.47m ・花崗斑岩である。 ・土壌化が著しい。 3.47~6.70m ・アプライトである。 ・花崗斑岩との境界は漸移的である。 6.70~7.47m ・花崗斑岩である。 7.47~9.03m ・アプライトである。 8.85~8.95m ・レンズ状に花崗斑岩を挟む。 9.03~10.06m ・花崗斑岩である。 10.06~34.00m ・アプライトである。 10.84~16.84m ・幅1~10mmの石英脈を多数挟む。 18.14~18.68m ・変質し、灰白色粘土が網目状に分布する。 ●22.75~23.53m(f-④-7-1破碎帯) ・破碎部である。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部及び灰白色の固結粘土状部からなる。 ・暗褐色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm 走向・傾斜はN53° W80° Sである。 ・上端境界の傾斜は75°、下端境界の傾斜は88°である。 					
	39.99	3.47				100	5	0						
	20	33.40	10.06	花崗斑岩	淡橙	CL'	100	6		0				
							100	8		0				
							100	9		0				
							100	10		10				
							100	13		13				
							100	7		0				
							100	6		0				
							100	11		11				
30	33.40	10.06	花崗斑岩	淡橙	CL'	100	13	13						
						100	12	12						
						100	9	0						
						100	21	33						
						100	13	23						
						100	9	0						
						30	33.40	10.06	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	7	0
												100	7	0
												100	8	0
												淡橙	CL'	100
100	15	15												
100	9	0												
30	33.40	10.06	花崗斑岩	にぶい黄橙	D'	100	9	0						
						淡橙	CL'	100	6	0				
								100	10	10				
						淡赤橙	CM'	100	22	55				
100	14	27												
30	33.40	10.06	花崗斑岩	淡橙	CM'	100	13	36						
						100	15	25						

1-322(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

H20-④-7

柱状図(30.00m~45.00m)



1-322(分類b)①
 報告書の記載漏れを修正したため。

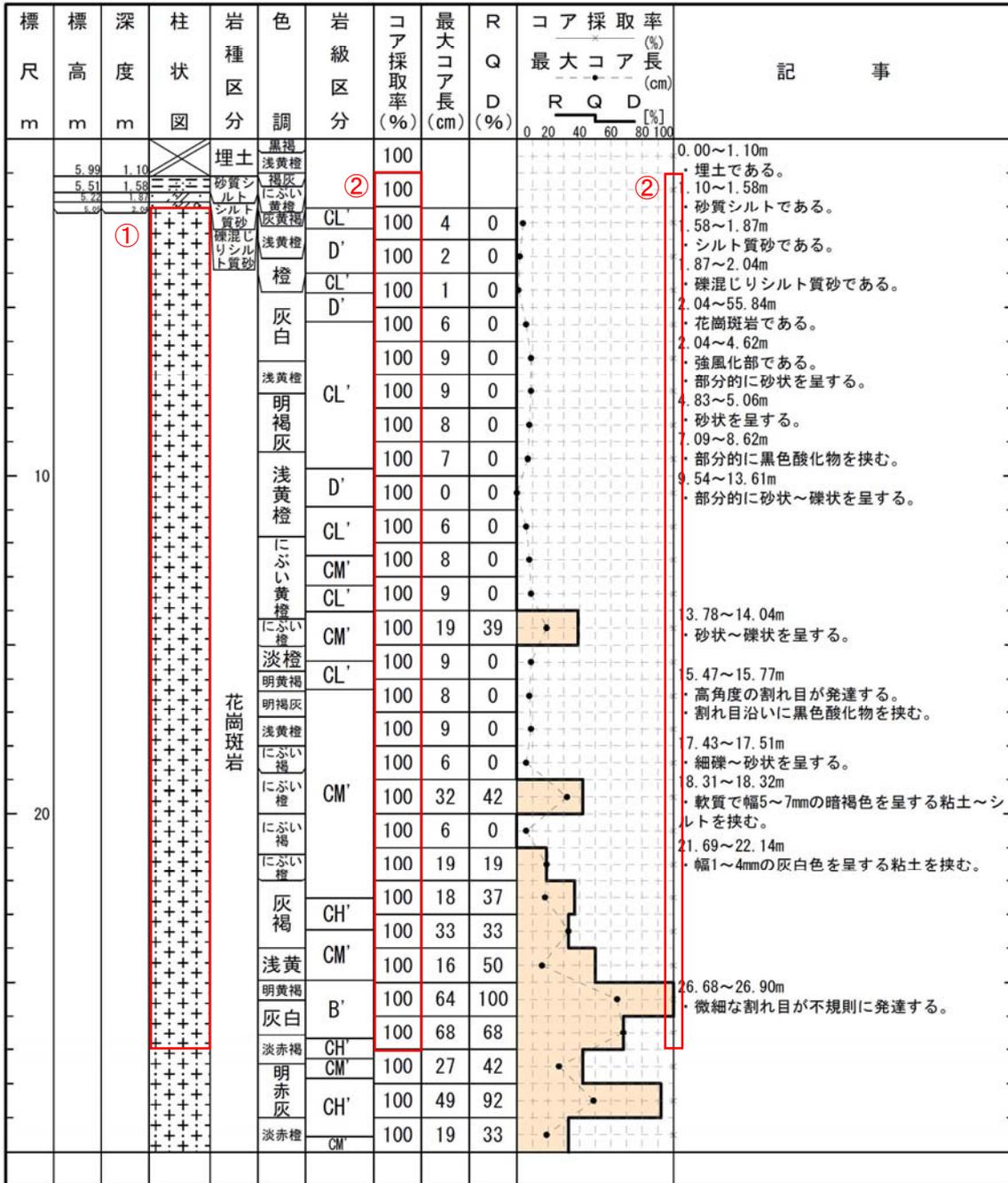
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (N値~深度) 試験		原位置試験 (孔内水平距離)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)							
														N	値																		
					浅黄橙	Eg	Vg	cg	3	●42.86~42.97m: 破砕帯 (f-b8-34-2) 破砕幅は5.2cmである。 粘土混じり角礫状を呈し、にぶい橙色の固結した礫状部からなる。上端境界の傾斜は62°。下端境界の傾斜は25°である。岩片間に幅1~2mmの白色の粘土脈が分布する。 42.97~46.32m: 傾斜10~40°の割れ目が主となる。一部で割れ目沿いに砂状化している。	0 50 100	D'								3/30	115			10.0	100								
					明褐灰	Dg	Vg	cg	2											125			0.1		泥水 10	10							
					明褐灰	Eg	VIg	dg	3	46.32~46.37m: 上下端の傾斜25°の割れ目間で著しく軟化している。 ●50.24~51.87m: 破砕部 破砕幅は149.3cmである。 50.24~50.25m: 灰褐色の粘土状を呈する。未固結の粘土状部からなり、幅は0.8cmである。傾斜は70°である。 50.25~50.97m: 角礫質粘土状を呈し、にぶい黄褐色の固結した礫状部からなる。下端境界の傾斜は45°である。径10mmまでの石英・岩片を含む。50.60~51.50mの岩片間には、白色の粘土脈が多数分布する。 50.97~51.50m: 暗灰白色の割れ目の密集部からなる。下端境界の傾斜は70°である。 51.50~51.71m: 粘土質角礫状を呈し、にぶい黄褐色の固結した礫状部からなる。 51.71~51.75m: 灰白色の固結した粘土状部からなる。下端境界の傾斜は75°である。下端側に少量の粘土化した岩片を含む。 51.75~51.87m: 粘土混じり角礫状を呈する。にぶい黄褐色の割れ目の密集部からなる。下端境界の傾斜は65°である。白色の粘土が網状に分布する。 52.11~53.45m: 著しく軟化している。岩組織と割れ目はほぼ消滅する。															4/1	90			150		0.1	泥水 10	3
					明黄褐	Eg	VIg	dg	3											105			0.1		泥水 10	1							
					花崗斑岩	Dg	Vg	cg	δ											90			26.0										
					にぶい黄橙	Eg	VIg	dg	3	54.51~54.82m: 角礫化し、土砂状を呈する。マンガン汚染で黒褐色化している。 55.04~56.81m: 径5~100mmに角礫化している。基質の一部は粘土化部や白色の粘土脈が分布する。											86 / 泥水												
					にぶい黄橙	Dg	Vg	cg	3	56.81~58.31m: 傾斜10~40°の割れ目が主となる。一部で70~80°の割れ目が斜交し径5mm前後に角礫化している。 58.31~59.92m: 割れ目沿いに砂状化。幅1~2mmの粘土脈を挟む。											4/2	90											
					にぶい黄橙	Eg	VIg	dg	3											85													
					にぶい黄橙	Dg	Vg	cg	3											75			10.0										
					にぶい黄橙	Eg	VIg	dg	3											100													
					にぶい黄橙	Dg	Vg	cg	3	62.16~62.67m: 粘土脈が網状に分布する。 62.50m: マンガン汚染により黒褐色化した粘土脈が分布する。最大幅は12mmである。											85												
					にぶい黄橙	Eg	VIg	dg	3	62.67~72.00m: アブライトである。 62.67m: 傾斜50°のシャープな割れ目を境に岩相が変化している。 62.67~64.51m: 傾斜20~30°と、これに交差する直線的な60~70°の割れ目が分布する。												65			26.0		150						
					にぶい黄橙	Dg	Vg	cg	2											65													
					にぶい黄橙	Eg	VIg	dg	2											50			36.0		200								
					にぶい黄橙	Dg	Vg	cg	2	66.07~66.17m: 割れ目交差部で角礫化している。 66.81~66.91m: 上端の傾斜40°と下端の傾斜63°の割れ目に囲まれ著しく軟化している。白色の粘土脈を挟む。												50											
					にぶい黄橙	Eg	VIg	dg	2											50													

H27-Br-5

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-5

孔 口 標 高	T. P.	7.09m	掘 削 長	70.00m
---------	-------	-------	-------	--------



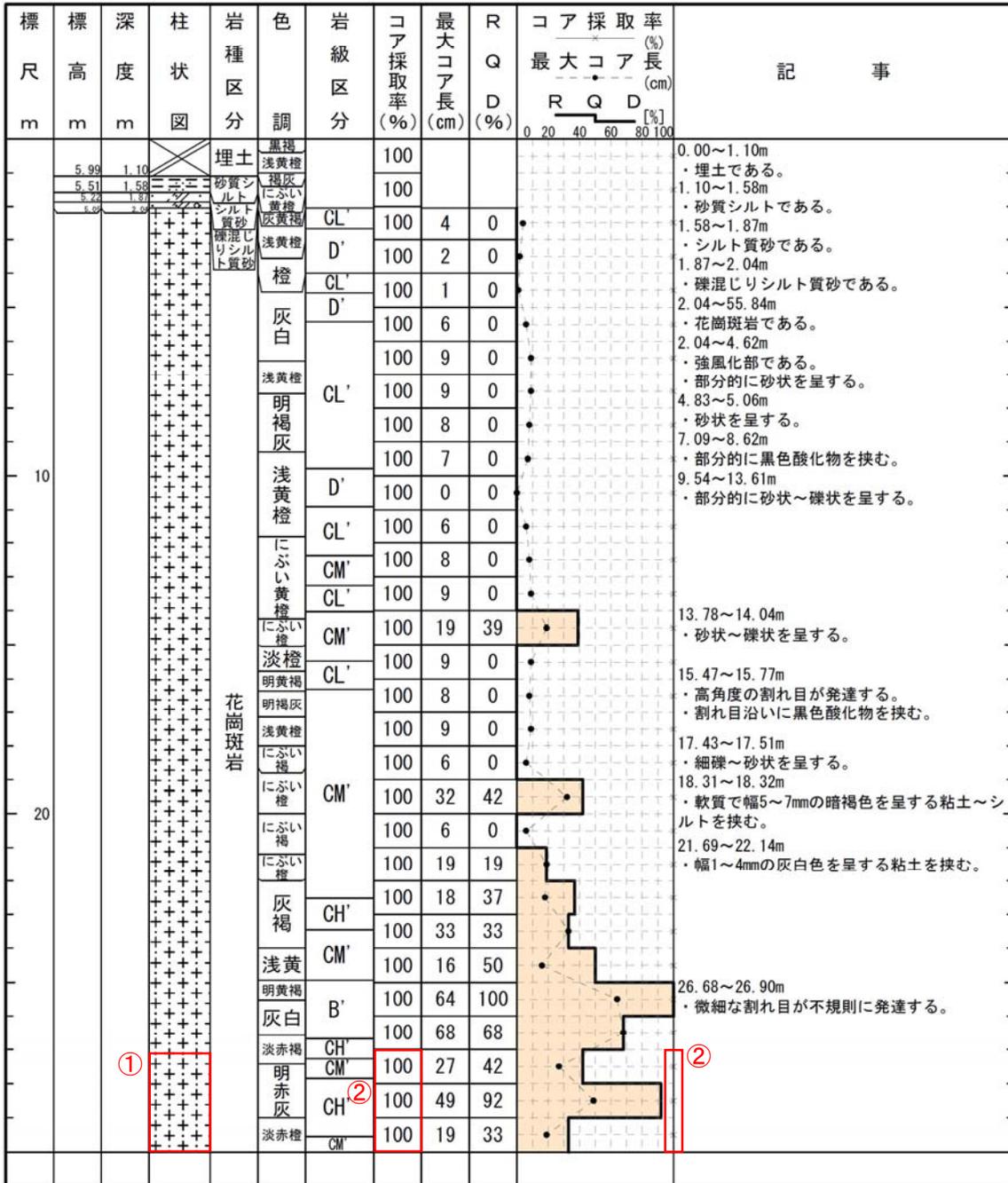
- 1-324(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-325(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-5

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-5

孔 口 標 高	T. P.	7.09m	掘 削 長	70.00m
---------	-------	-------	-------	--------



- 1-324(分類c) ①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-325(分類b) ②
 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記号	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	標準貫入 (N 値 ~ 深度) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給送水圧 (kN · MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)																																				
														(N 値)	(深度)																																															
30			[図]	花崗斑岩	淡赤橙	IV g	bg	β	1			27.27~27.60m: 幅10mm程度で砂状~細礫状を呈する。	CH'	0	0				4/14	78			28.4	0.3	清水 ₂	0	0																																			
																												27.43~27.52m: 砂状~礫状を呈する。	CH'	50	10	42	44	92																												
																												29.02~29.64m: 開口した割れ目が発達し、黒色酸化物を挟在する。一部径0.5~10mmの角礫状を呈す。	CH'	50	10	33	33																													
																												30.57~30.67m: 割れ目が集中し、一部礫状~岩片状を呈する。	CH'	50	10	1	1																													
																												黄橙	IV g	bg	γ	1		31.45~31.78m: 微細な割れ目が不規則に発達する。	CM'	50	10	27	27		4/16	75			18.6	0.3	清水 ₁	0	0													
																																																		31.78~32.20m: 傾斜70~80°の割れ目及び微細な割れ目が発達する。	CM'	50	10	27	27							
																																																		32.56~32.84m: 傾斜30~70°の割れ目が交差する。上部に幅1mmの淡緑灰色粘土を挟在する。	CM'	50	10	1	1							
																												淡赤橙	IV g	bg	β	1		32.25~33.83m: 密着した割れ目が発達し、灰白色の鉱物脈を挟む。	CM'	50	10	19	19		4/16	101			36.2																	
																																																						35.55m: 幅1~2mmの褐色粘土を挟在する。傾斜75°程度。	CL'	50	10	1	1			
																												40			[図]	花崗斑岩	淡赤橙	IV g	bg	δ	2			36.79~37.25m: 割れ目が良く発達する。	CM'	50	10	17	17		4/16	101			28.4											
																																																								37.80~38.97m: 傾斜50°の平行な割れ目が1~10cm間隔で発達する。	CM'	50	10	1	1	
																																																								39.52~39.84m: 傾斜60~90°の割れ目が発達する。	CM'	50	10	1	1	
39.69m: 幅8~20mmの石英脈を挟在する。	CH'	50	10	34	34																																																									
41.32~41.44m: 不規則な割れ目が発達する。	CH'	50	10	7	7																																																									
42.05~42.40m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CM'	50	10	1	1																																																									
50			[図]	花崗斑岩	淡赤橙	IV g	ag	β	1			42.48m: 幅0~5mmで細礫状を呈す。42.77~42.82m: 岩片状を呈する。	CM'	50	10	15	15		4/17	47			48.0	180	0.3	清水 ₂	0	0																																		
																													44.03~44.18m: 傾斜70°の割れ目が集中する。	CH'	50	10	18	18																												
																													45.36m: 幅10~15mmで礫状を呈す。	CM'	50	10	19	19																												
																													47.25~48.00m: 割れ目に沿ってフィルム状の灰白~淡緑灰色粘土を挟在する。	CL'	50	10	25	25																												
																													48.00~48.31m: 傾斜40~50°の割れ目に沿って幅1~3mmの淡緑灰色粘土を挟在する。	CM'	50	10	1	1																												
																													49.32~50.23m: 幅1~4mmの淡緑灰色粘土を挟在する。	CL'	50	10	1	1																												
60			[図]	花崗斑岩	明赤橙	IV g	dg	ε	4			●50.48~51.16m: 破碎帯。50.48~50.50m: 疎混じり粘土状破砕部(Hc-2)。上部の傾斜78°。幅5~15mmの疎混じり灰白色粘土。50.50~51.14m: 角礫状破砕部(H1)。幅1mm以下の黄灰~灰白色粘土を挟在する。51.14~51.16m: 粘土状破砕部(Hc-1)。幅10~20mmの緑灰色粘土。下部の傾斜75°。	D'	50	10	1	1		4/20	37			18.6																																							
																																53.76~54.35m: 網目状に割れ目が発達し、岩片状を呈す。	CL'	50	10	1	1																									
																																55.84~56.04m: アブライト。やや変質している。割れ目に沿って1~3cmの角礫状を呈す。	CL'	50	10	1	1																									
																																56.04~70.00m: 花崗斑岩。56.31~58.09m: 不規則な割れ目が発達する。	CM'	50	10	1	1																									
																																60.17~61.24m: 密着した微細な割れ目が発達する。	CM'	50	10	14	14																									
																																60.67~60.70m: 傾斜75°の割れ目に沿って一部砂状化する。	CH'	50	10	26	26																									
60			[図]	花崗斑岩	明赤橙	IV g	cg	δ	2		61.26~61.97m: 高角度の割れ目が発達する。	CL'	50	10	16	16		4/21	101			36.2			0.3	清水 ₂	0	0																																		
																													61.26~61.97m: 高角度の割れ目が発達する。	CL'	50	10	16	16																												
60			[図]	花崗斑岩	明赤橙	IV g	bg	γ	3		55.84~56.04m: アブライト。やや変質している。割れ目に沿って1~3cmの角礫状を呈す。	CL'	50	10	1	1		4/21	101			9.8	0.4	清水 ₂	0	0																																				
																											56.04~70.00m: 花崗斑岩。56.31~58.09m: 不規則な割れ目が発達する。	CM'	50	10	1	1																														
60			[図]	花崗斑岩	明赤橙	IV g	cg	δ	2		60.17~61.24m: 密着した微細な割れ目が発達する。	CH'	50	10	14	14		4/21	101			36.2			0.3	清水 ₂	0	0																																		
																													60.67~60.70m: 傾斜75°の割れ目に沿って一部砂状化する。	CH'	50	10	14	14																												
60			[図]	花崗斑岩	明赤橙	IV g	cg	δ	2		61.26~61.97m: 高角度の割れ目が発達する。	CL'	50	10	16	16		4/22	75			36.2			0.3	清水 ₂	0	0																																		
																													61.26~61.97m: 高角度の割れ目が発達する。	CL'	50	10	16	16																												

H27-Br-5

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記事		
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]	D			
		①	花崗斑岩	淡赤橙	花崗斑岩	③	100	9	0				30.57~30.67m ・割れ目が多く、礫状~岩片状を呈する。		
				黄橙			CM'	100	19	27					31.45~31.78m ・微細な割れ目が発達する。
				淡赤橙			CL'	100	9	0					31.78~32.20m ・高角度の割れ目及び微細な割れ目が発達する。
				にぶい橙			CM'	100	17	39					32.25~33.93m ・密着した割れ目が発達する。
				淡赤橙			CM'	100	11	21					・灰白色の鉱物脈を挟む。
				橙			CH'	100	18	30					39.69m ・幅8~20mmの石英脈を挟む。
				灰白			CM'	100	34	78					41.32~41.44m ・不規則な割れ目が発達する。
				にぶい橙			CM'	100	8	0					42.77~42.82m ・割れ目が多く、岩片状を呈する。
				褐灰			CH'	100	18	61					44.03~44.18m ・高角度の割れ目が発達する。
				にぶい橙			CM'	100	19	30					45.36m ・割れ目が多く、礫状を呈する。
				オリブ灰			CH'	100	19	66					47.25~50.23m ・割れ目に沿って灰白~淡緑灰色を呈する粘土挟む。
				灰褐			CL'	100	25	25					50.48~51.16m (f-br-5-1破砕帯) ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に橙色の固結礫状部及び灰白色の固結粘土状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土部：累計幅0.8cm ・走向・傾斜はN46° E78° NWである。 ・上端境界の傾斜は78°、下端境界の傾斜は75°である。
				にぶい橙			CM'	100	9	0					55.84~56.04m ・アブライトである。 ・やや変質している。 ・割れ目が多く、1~3cmの角礫状を呈する。
				明赤灰			CL'	100	7	0					56.04~70.00m ・花崗斑岩である。
				明黄褐			D'	100	5	0					60.17~61.24m ・密着した微細な割れ目が発達する。
				アブライト			CH'	100	6	0					
				青灰			CH'	100	8	0					
				にぶい橙			CH'	100	7	0					
				花崗斑岩			CM'	100	4	0					
							CH'	100	6	0					
				CM'	100	14	67								
				CH'	100	26	59								

- 1-324, 1-327(分類c) ①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-326(分類d) ②
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
- 1-325(分類b) ③
報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-5

柱状図(60.00m~70.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分②	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記 事
		①	+	花崗斑岩	にぶい橙	CH'	100	17	79		②	60.67~60.70m ・高角度の割れ目に沿って一部砂状化する。
		CL'				100	16	33	61.26~61.97m ・高角度の割れ目が発達する。			
		B'				100	72	85				
		CM'				100	18	20				
		CH'				100	19	54				
		CM'				100	5	0				
		CL'				100	6	0				
		CL'				100	13	20	66.25~67.40m, 68.05~69.07m ・硬度の割れ目が発達する。			
		浅黄橙 灰白				100	6	0				
		浅黄褐				CH'	100	19	59			

- 1-324(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-325(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-5

柱状図(60.00m~70.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記 事
			①	花崗斑岩	にぶい橙	CH'	100	17	79	②		60.67~60.70m ・高角度の割れ目に沿って一部砂状化する。
		CL'				100	16	33	61.26~61.97m ・高角度の割れ目が発達する。			
		B'				100	72	85				
		CM'②				100	18	20				
		CH'				100	19	54				
		CM'				100	5	0				
						100	6	0				
						100	13	20	66.25~67.40m, 68.05~69.07m ・硬度の割れ目が発達する。			
						100	6	0				
						100	19	59				

- 1-324(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-325(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

6

事業・工事名

ボーリング名	Br-6		調査位置					北緯		
発注機関					調査期間			東経		
調査業者名				主任技師			現代理人			ボーリング者
孔口標高	2.61 m	角	180° 上	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試験機	ハンマー 落下用具
総掘削長	100.00 m	度	下 0°	向	0, 0°					ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コアラ形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	標準貫入 (N値~深度) 図				原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) ノック保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)						
															0	10	20	30																	
	-2.06	4.67		埋土	灰黄						0.00~4.67m: 埋戻土。 0.00~0.39m: 碎石。 0.39~4.67m: 中~粗粒砂及び細礫を主体とする埋戻土。											4/11	17	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	0.0	0	0.0	0	0						
	-5.22	7.83		シルト混じり砂	暗緑灰						4.67~7.83m: シルト混じり砂。炭質物、貝殻片が混じる。細粒砂を主体とする。 6.83~7.75m: 石英の細礫を多く含む。											4/13	25	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	9.4	0.0	0.0	清水1	1						
10	-9.44	12.05		シルト質砂	淡黄 明黄						7.83~12.05m: シルト質砂。極い砂からなる。シルトを含む細粒~中粒砂を主体とする。一部に細礫を含む。 8.80~9.75m, 9.92~10.03m: 炭質物を含む。 11.60m: 炭質物が密集する。													4/14	115	ダブルコアチューブ/メタルクラウン	16.6	0.0	0.0	清水5	5				
	-17.76	20.37		玉石混じりシルト質砂	灰 明黄 淡黄 黄						12.05~20.37m: 玉石混じりシルト質砂。 花崗斑岩の風化礫や硬質礫を不均質に含む。歪角~歪門礫で、最大径35cm。径2~9cm程度のものが多い。大礫は硬質で、細~中礫は軟質。基質は細~中粒砂を主体とし、良く締まっている。 12.27m: 径4cm程度の赤褐色の木片を挟む。 13.60~13.90m: 風化花崗斑岩礫。 15.48~15.58m: 細礫が密集する。 15.85~16.00m: 硬質な花崗斑岩の玉石。 16.00~16.51m: 風化した中礫及び玉石を含む。 17.12~17.52m, 18.53~18.87mには玉石を、17.60~17.80m, 18.23~18.37mには風化礫を含む。																	4/15	220	ダブルコアチューブ/メタルクラウン	16.6	0.0	0.0	清水6	6
	-17.76	20.37		花崗斑岩	淡黄 黄 明黄						20.37~100.00m: 花崗斑岩。 20.37~22.34m: 砂状を呈し、原岩組織は不明瞭となる。 20.62~20.88m: 幅0.5~2mmの褐色の砂を挟む。 23.53~24.32m: 割れ目が交差して格子状を呈する。 23.67m: 幅2mmの緑褐色粘土を挟む。 26.29~27.10m: 微細な割れ目が卓越する。															4/16	94	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	14.7	0.0	0.0	清水1	1		
																						4/17	45	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	14.7	60	0.0	0.0	清水1	1					
																						4/18	43	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	16.6	80	0.0	0.0	清水2	2					
																						4/20	39	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	16.6	100	0.0	0.0	清水2	2					
																						4/21	136	ダブルコアチューブ/メタルクラウン	14.7	60	0.1	0.1	清水5	5					
																						4/23	135	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	16.6	100	0.0	0.1	清水3 清水5	3 5					

H27-Br-6

柱状図(0.00m~35.00m)

H27-Br-6

孔 口 標 高	T. P.	2. 61m	掘 削 長	100. 00m
---------	-------	--------	-------	----------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%) 最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事	
													0
				埋土	オリブ黒 にぶい黄橙 灰黄 にぶい黄橙	②	100					0.00~4.67m ・埋土である。 ・中~粗粒砂及び細礫を主体とする。	
		-2.06	4.67	シルト混じり砂	暗緑灰		100					4.67~7.83m ・シルト混じり砂である。 ・石英の細礫を多く含む。	
		-5.22	7.83	シルト質砂	浅黄 明黄褐		100					7.83~12.05m ・シルト質砂である。 ・炭化物が密集する。	
		-9.44	12.05	玉石混じりシルト質砂	灰 明黄褐 浅黄 淡黄 黄橙 にぶい黄橙 黄橙 明オリブ灰 浅黄橙 にぶい黄橙 黄橙 淡黄 黄橙		100					12.05~20.37m ・玉石混じりシルト質砂である。 ・花崗斑岩の風化礫や硬質礫を不均質に含む。 ・基質は細~中粒砂を主体とし、良く締まっている。 ・2.27m ・径4cm程度の赤褐色の木片を挟む。	
		-17.76	20.37	花崗斑岩	明黄褐 黄褐 明黄褐	D'	100	0	0			20.37~100.00m ・花崗斑岩である。	
			浅黄橙		100		3	0					20.37~22.34m ・砂状を呈する。 ・原岩組織は不明瞭である。
			淡黄		100		9	0					22.34~24.32m ・割れ目が斜交して格子状を呈する。
			浅黄橙		100	8	0					24.32~27.56m ・微細な割れ目が発達する。	
			淡黄		100	7	0					27.56~29.71m ・低角度の割れ目が発達する。	
			淡黄		100	18	25					29.71~30.80m ・低角度の割れ目が発達する。	
			淡黄		100	12	34					30.80~33.02m ・高角度の割れ目が発達する。 ・一部に暗緑灰色を呈するシルト~砂を挟む。	
			淡黄		100	11	24					33.02~34.01m(f-br-6-1破碎帯) ・破碎帯である。 ・正断層センスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・緑灰色の未固結粘土状部：累計幅1.2cm ・走向・傾斜はN49° E72° Wである。 ・上端境界の傾斜は85°、下端境界の傾斜は50°~70°である。	
			淡黄		100	13	20						
			淡黄		100	4	0						
			淡黄	100	8	0							

- 1-328(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-329(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

参考3-787

補足5-425

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位(測) / 測定月日	標準貫入 (試験) 図		原位置試験 (孔内水平載重)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水量 (MPa)	送水圧 (MPa)	排水量 (L/分)															
														(N 値)	(深度)																										
		30	花崗斑岩	淡黄	淡黄	IV g	cg	γ	δ	27.36~27.56m: 微細な割れ目が集中する。	8	CL'																													
										29.71~30.80m: 低角度の割れ目が優勢となる。 30.37~30.80m: 幅1~3mmの淡褐色~褐色のシルト~砂を挟在する。 30.80~31.91m: 高角度の割れ目が卓越する。	12	CM'																													
										32.60~33.02m: 高角度の割れ目が良く発達し、一部に暗緑灰色のシルト~砂を挟在する。 ●33.02~34.01m: 破砕帯。 33.02~33.97m: 角礫状破砕部(Hj)。上端に幅1~4mmの褐色粘土を挟在する。傾斜85°。 33.97~34.01m: 粘土状破砕部(Hc-1)。幅25mmの緑灰色粘土からなる。下端の傾斜50~70°。	11	CL'																													
										34.80m: 幅0.5~3mmの暗緑灰色のシルト~砂を挟在する。 35.00m: 幅1~2mmの灰褐~淡褐色シルトを挟在する。 36.37m: 幅3mmの暗灰色粘土を挟在する。	10	D'																													
										37.45~37.83m: 幅0.5~3mmの暗灰色粘土を挟在する。 38.38m: 幅2~5mmの淡褐色のシルト~粘土を挟在する。	9	CL'																													
		40								灰白	淡黄	II g	cg	γ	δ	δ	40.83m, 41.33m: 幅3mmの白色粘土を挟在する。 41.48~41.57m: 礫状を呈し、下端に幅3mmの白色粘土を挟在する。 42.02~42.42m: 幅0.5~5mmでにぶい褐色の砂~細礫を挟在する。 43.08m: 幅2mmの白色粘土を挟在する。	16	CM'																						
																	44.47m: 幅2mmの白色粘土を挟在する。 44.82m: 幅2mmの淡褐色シルトを挟在する。	17	CH'																						
																	47.79~47.83m: 低角度の割れ目が集中する。下端に幅4mmのシルト~砂を挟在する。	15	CM'																						
																	51.39~51.52m: 高・低角度の割れ目が交差する。	14	CH'																						
																	57.54~57.87m: 低角度の割れ目が卓越する。	13	B'																						
																	60.03~61.72m: 低角度の割れ目が優勢となる。	12	CH'																						
																		11	B'																						
																		10	CH'																						
																		9	CM'																						
																		8	CH'																						
											7	B'																													
											6	CH'																													
											5	CM'																													
											4	CH'																													
											3	B'																													
				2	CH'																																				
				1	B'																																				
				0	CH'																																				
				0	CM'																																				

H27-Br-6

柱状図(0.00m~35.00m)

H27-Br-6

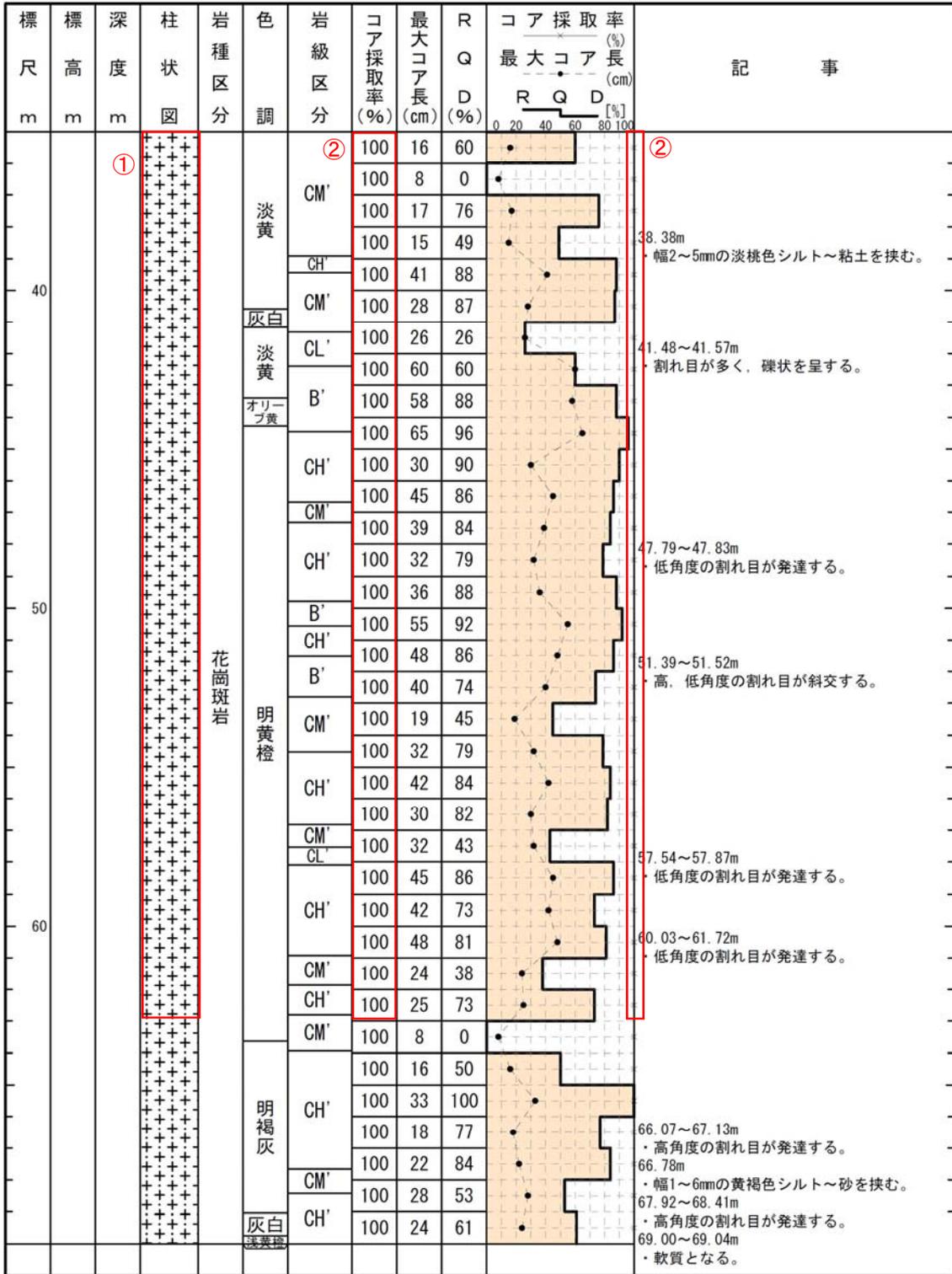
孔 口 標 高	T. P.	2. 61m	掘 削 長	100. 00m
---------	-------	--------	-------	----------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R (%)	Q (%)	D (%)	コ ア 採 取 率 (%) 最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事	
															0
10				埋土	オリブ黒		100								0.00~4.67m ・埋土である。 ・中~粗粒砂及び細礫を主体とする。
					にぶい黄橙		100								
					灰黄		100								
					にぶい黄橙		100								
					にぶい黄橙		100								
					シルト混じり砂		100						4.67~7.83m ・シルト混じり砂である。 ・石英の細礫を多く含む。		
					暗緑灰		100								
					シルト質砂		100						7.83~12.05m ・シルト質砂である。 ・炭化物が密集する。		
					浅黄		100								
					明黄褐		100						12.05~20.37m ・玉石混じりシルト質砂である。 ・花崗斑岩の風化礫や硬質礫を不均質に含む。 ・基質は細~中粒砂を主体とし、良く締まっている。 12.27m ・径4cm程度の赤褐色の木片を挟む。		
灰	100														
明黄褐	100														
遠黄	100														
淡黄	100														
黄橙	100														
にぶい黄橙	100														
黄橙	100														
明オリブ灰	100														
遠黄橙	100														
にぶい黄橙	100														
黄橙	100														
淡黄	100														
黄橙	100														
明黄褐	100														
黄褐	100														
明黄褐	100														
20				玉石混じりシルト質砂		D'	100	0	0	0	0	0		20.37~100.00m ・花崗斑岩である。 20.37~22.34m ・砂状を呈する。 ・原岩組織は不明瞭である。 23.53~24.32m ・割れ目が斜交して格子状を呈する。 26.29~27.56m ・微細な割れ目が発達する。 29.71~30.80m ・低角度の割れ目が発達する。 30.80~33.02m ・高角度の割れ目が発達する。 一部に暗緑灰色を呈するシルト~砂を挟む ●33.02~34.01m(f-br-6-1破砕帯) ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・緑灰色の未固結粘土状部：累計幅1.2cm ・走向・傾斜はN49° E72° Wである。 ・上端境界の傾斜は85°、下端境界の傾斜は50°~70°である。	
						D'	100	0	0	0	0	0			
						D'	100	3	0	0	0	0			
						D'	100	6	0	0	0	0			
						淡黄	100	9	0	0	0	0			
						CL'	100	5	0	0	0	0			
						CL'	100	9	0	0	0	0			
						②	100	8	0	0	0	0			
						②	100	7	0	0	0	0			
						CM'	100	18	25	0	0	0			
30				花崗斑岩		淡黄	100	12	34	0	0	0			
						淡黄	100	11	24	0	0	0			
						CL'	100	13	20	0	0	0			
						D'	100	4	0	0	0	0			
						CL'	100	8	0	0	0	0			
						浅黄橙	100								

- 1-328(分類c) ①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-329(分類b) ②
報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-6

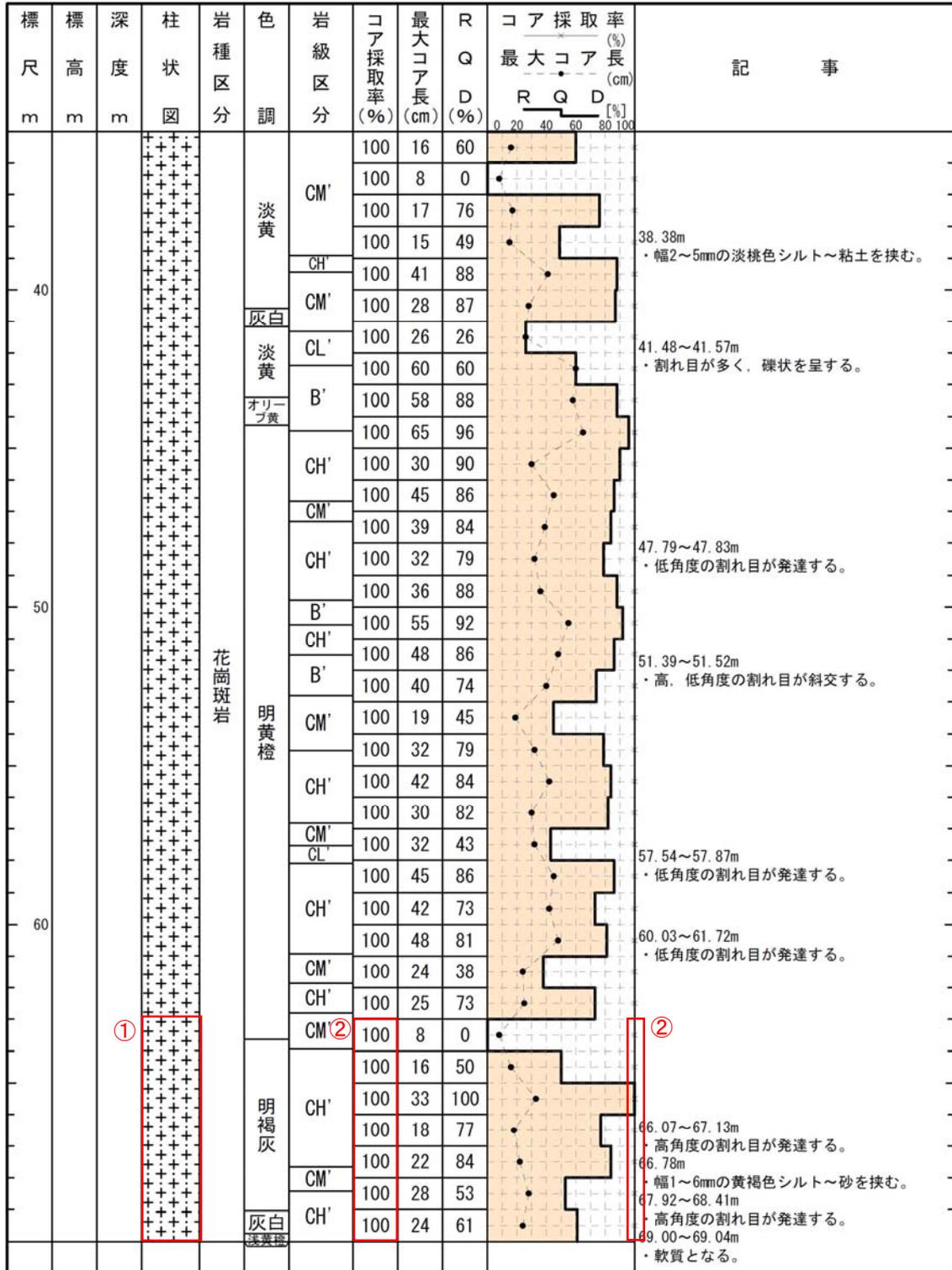
柱状図(35.00m~70.00m)



- 1-328(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-329(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-6

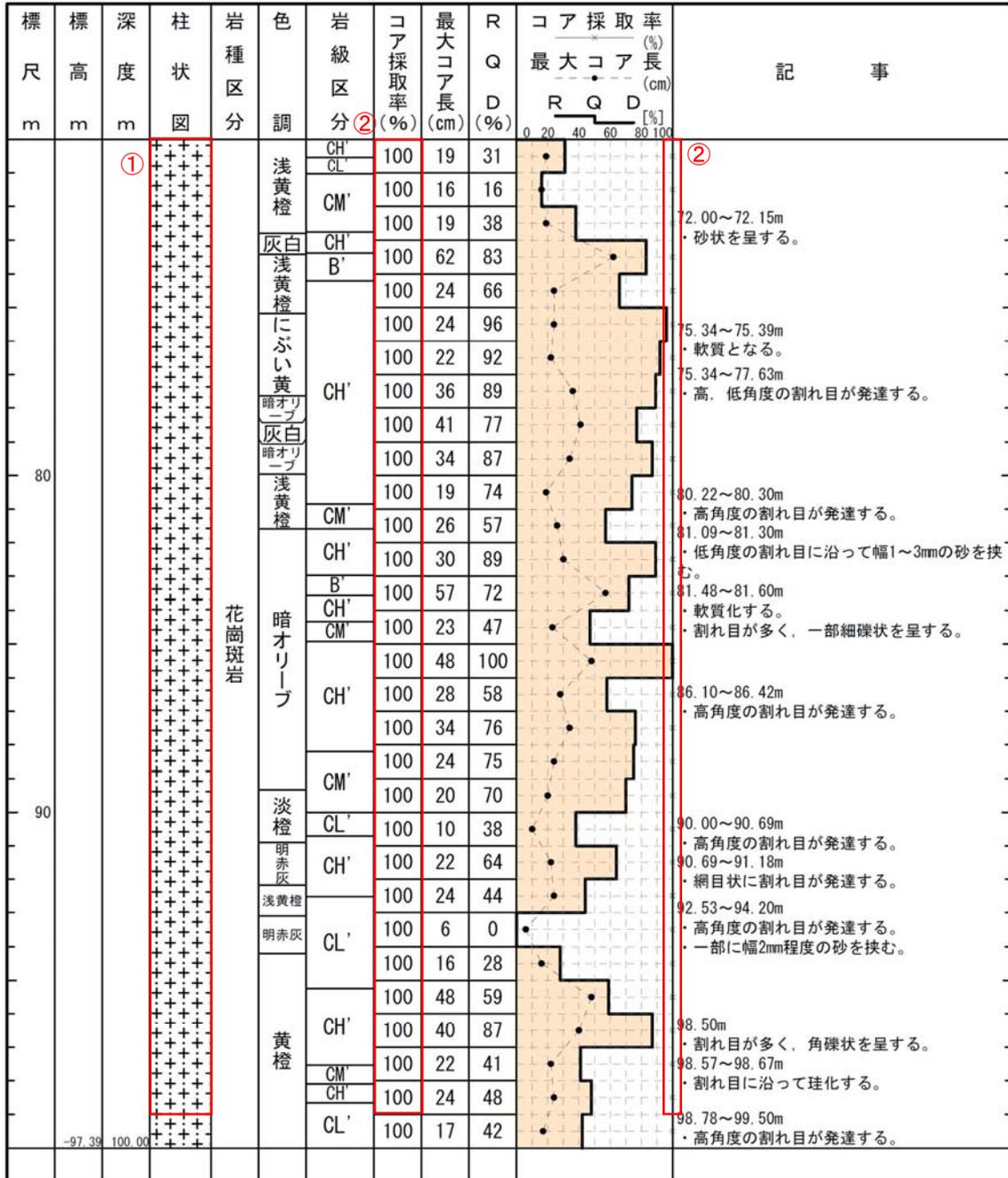
柱状図(35.00m~70.00m)



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩級区分	標準貫入試験 (N値~深度) 図		孔内水位 (m) / 測定月日	原位置試験 (孔内水平載重)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
															N	値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
70			花崗斑岩	明褐色	Cg	IVg	bg	γ	β	2	66.07~67.13m: 高角度の割れ目が優勢となる。 66.78m: 幅1~6mmの黄褐色のシルト~砂を挟在する。 67.66m: 幅3mmの淡褐色粘土を挟在する。 67.92~68.41m: 高角度の割れ目が卓越する。 68.45m: 幅3mmの褐色粘土を挟在する。 69.00~69.04m: 軟質となる。	0 50 100 [4] 16 [30] 33 [100] 48 [77] 22 [34] 28 [53] 24 [61] 15 [81] 16 [113] 19 [38] 62 [83] 24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [49]	CM' CH' CM' CH' CL' CM' CH' B' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	4/30 114		4/30 114		100	0.1	清水5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
80																																							花崗斑岩	明褐色	Cg	IVg	bg	γ	β	2	72.00~72.15m: 砂状を呈する。 75.34~75.39m: 軟質化する。上・下端の割れ目に沿って幅4~5mmの砂を挟在する。 75.34~76.66m: 低角度の割れ目を主体とする。 76.66~76.86m: 高・低角度の割れ目が交差する。 77.09~77.63m: 低角度の割れ目が主体となる。 80.22~80.30m: 傾斜60~80°の割れ目がほぼ平行に発達する。 81.09~81.30m: 低角度の割れ目に沿って幅1~3mmの砂を挟在する。 81.48~81.60m: 軟質化し、一部細礫状を呈する。 83.57m: 幅12mmで細礫混じりの褐灰色粘土を挟在する。 86.10~86.42m: 高角度の割れ目が平行に発達する。 88.62m, 88.70m: 幅2~8mmの砂~細礫を挟在する。 90.00~90.69m: 幅1~2mmの砂を挟む高角度の割れ目が卓越する。 90.69~91.18m: 網目状に割れ目が発達する。 92.53~94.20m: ほぼ平行な高角度の割れ目が卓越し、一部に幅2mm程度の砂を挟在する。 98.50m: 幅5~16mmで角礫状を呈する。 98.57~98.67m: 割れ目に沿って珪化する。 98.67~98.71m: 幅2~7mmの角礫混じり淡緑灰~淡黄灰色粘土を挟在する。礫径は2~5mm。 98.78~99.50m: 高角度の割れ目が卓越する。	0 50 100 [16] 16 [38] 24 [61] 15 [81] 16 [113] 19 [38] 62 [83] 24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [49]	CM' CH' CM' CH' CL' CM' CH' B' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/1 107		5/1 107		0.1	清水4	3																																																																																																																																																																																																																																																																																			
90																																																																												花崗斑岩	明褐色	Cg	IVg	bg	γ	β	2	90.00~90.69m: 幅1~2mmの砂を挟む高角度の割れ目が卓越する。 90.69~91.18m: 網目状に割れ目が発達する。 92.53~94.20m: ほぼ平行な高角度の割れ目が卓越し、一部に幅2mm程度の砂を挟在する。 98.50m: 幅5~16mmで角礫状を呈する。 98.57~98.67m: 割れ目に沿って珪化する。 98.67~98.71m: 幅2~7mmの角礫混じり淡緑灰~淡黄灰色粘土を挟在する。礫径は2~5mm。 98.78~99.50m: 高角度の割れ目が卓越する。	0 50 100 [16] 16 [38] 24 [61] 15 [81] 16 [113] 19 [38] 62 [83] 24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [49]	CM' CH' CM' CH' CL' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/7 60		5/7 60		0.1	清水4	2																																																																																																																																																																																																																																														
																																																																																																																	花崗斑岩	明褐色	Cg	IVg	bg	γ	β	2	90.00~90.69m: 幅1~2mmの砂を挟む高角度の割れ目が卓越する。 90.69~91.18m: 網目状に割れ目が発達する。 92.53~94.20m: ほぼ平行な高角度の割れ目が卓越し、一部に幅2mm程度の砂を挟在する。 98.50m: 幅5~16mmで角礫状を呈する。 98.57~98.67m: 割れ目に沿って珪化する。 98.67~98.71m: 幅2~7mmの角礫混じり淡緑灰~淡黄灰色粘土を挟在する。礫径は2~5mm。 98.78~99.50m: 高角度の割れ目が卓越する。	0 50 100 [16] 16 [38] 24 [61] 15 [81] 16 [113] 19 [38] 62 [83] 24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [49]	CM' CH' CM' CH' CL' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/8 51		5/8 51		0.1	清水3	1																																																																																																																																																																																																									
																																																																																																																																																					花崗斑岩	明褐色	Cg	IVg	bg	γ	β	2	90.00~90.69m: 幅1~2mmの砂を挟む高角度の割れ目が卓越する。 90.69~91.18m: 網目状に割れ目が発達する。 92.53~94.20m: ほぼ平行な高角度の割れ目が卓越し、一部に幅2mm程度の砂を挟在する。 98.50m: 幅5~16mmで角礫状を呈する。 98.57~98.67m: 割れ目に沿って珪化する。 98.67~98.71m: 幅2~7mmの角礫混じり淡緑灰~淡黄灰色粘土を挟在する。礫径は2~5mm。 98.78~99.50m: 高角度の割れ目が卓越する。	0 50 100 [16] 16 [38] 24 [61] 15 [81] 16 [113] 19 [38] 62 [83] 24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [49]	CM' CH' CM' CH' CL' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/9 22		5/9 22		0.1	清水4	2																																																																																																																																																																					
																																																																																																																																																																																									花崗斑岩	明褐色	Cg	IVg	bg	γ	β	2	90.00~90.69m: 幅1~2mmの砂を挟む高角度の割れ目が卓越する。 90.69~91.18m: 網目状に割れ目が発達する。 92.53~94.20m: ほぼ平行な高角度の割れ目が卓越し、一部に幅2mm程度の砂を挟在する。 98.50m: 幅5~16mmで角礫状を呈する。 98.57~98.67m: 割れ目に沿って珪化する。 98.67~98.71m: 幅2~7mmの角礫混じり淡緑灰~淡黄灰色粘土を挟在する。礫径は2~5mm。 98.78~99.50m: 高角度の割れ目が卓越する。	0 50 100 [16] 16 [38] 24 [61] 15 [81] 16 [113] 19 [38] 62 [83] 24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [49]	CM' CH' CM' CH' CL' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/11 43		5/11 43		0.1	清水3	2																																																																																																																																	
																																																																																																																																																																																																																													花崗斑岩	明褐色	Cg	IVg	bg	γ	β	2	90.00~90.69m: 幅1~2mmの砂を挟む高角度の割れ目が卓越する。 90.69~91.18m: 網目状に割れ目が発達する。 92.53~94.20m: ほぼ平行な高角度の割れ目が卓越し、一部に幅2mm程度の砂を挟在する。 98.50m: 幅5~16mmで角礫状を呈する。 98.57~98.67m: 割れ目に沿って珪化する。 98.67~98.71m: 幅2~7mmの角礫混じり淡緑灰~淡黄灰色粘土を挟在する。礫径は2~5mm。 98.78~99.50m: 高角度の割れ目が卓越する。	0 50 100 [16] 16 [38] 24 [61] 15 [81] 16 [113] 19 [38] 62 [83] 24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [49]	CM' CH' CM' CH' CL' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/12 63		5/12 63		0.1	清水3	1																																																																																													
																																																																																																																																																																																																																																																																		花崗斑岩	明褐色	Cg	IVg	bg	γ	β	2	90.00~90.69m: 幅1~2mmの砂を挟む高角度の割れ目が卓越する。 90.69~91.18m: 網目状に割れ目が発達する。 92.53~94.20m: ほぼ平行な高角度の割れ目が卓越し、一部に幅2mm程度の砂を挟在する。 98.50m: 幅5~16mmで角礫状を呈する。 98.57~98.67m: 割れ目に沿って珪化する。 98.67~98.71m: 幅2~7mmの角礫混じり淡緑灰~淡黄灰色粘土を挟在する。礫径は2~5mm。 98.78~99.50m: 高角度の割れ目が卓越する。	0 50 100 [16] 16 [38] 24 [61] 15 [81] 16 [113] 19 [38] 62 [83] 24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [49]	CM' CH' CM' CH' CL' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/13 151		5/13 151		0.1	清水2	1																																																								
																																																																																																																																																																																																																																																																																																							花崗斑岩	明褐色	Cg	IVg	bg	γ	β	2	90.00~90.69m: 幅1~2mmの砂を挟む高角度の割れ目が卓越する。 90.69~91.18m: 網目状に割れ目が発達する。 92.53~94.20m: ほぼ平行な高角度の割れ目が卓越し、一部に幅2mm程度の砂を挟在する。 98.50m: 幅5~16mmで角礫状を呈する。 98.57~98.67m: 割れ目に沿って珪化する。 98.67~98.71m: 幅2~7mmの角礫混じり淡緑灰~淡黄灰色粘土を挟在する。礫径は2~5mm。 98.78~99.50m: 高角度の割れ目が卓越する。	0 50 100 [16] 16 [38] 24 [61] 15 [81] 16 [113] 19 [38] 62 [83] 24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [49]	CM' CH' CM' CH' CL' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/14 83		5/14 83		0.1	清水2	1																			

H27-Br-6

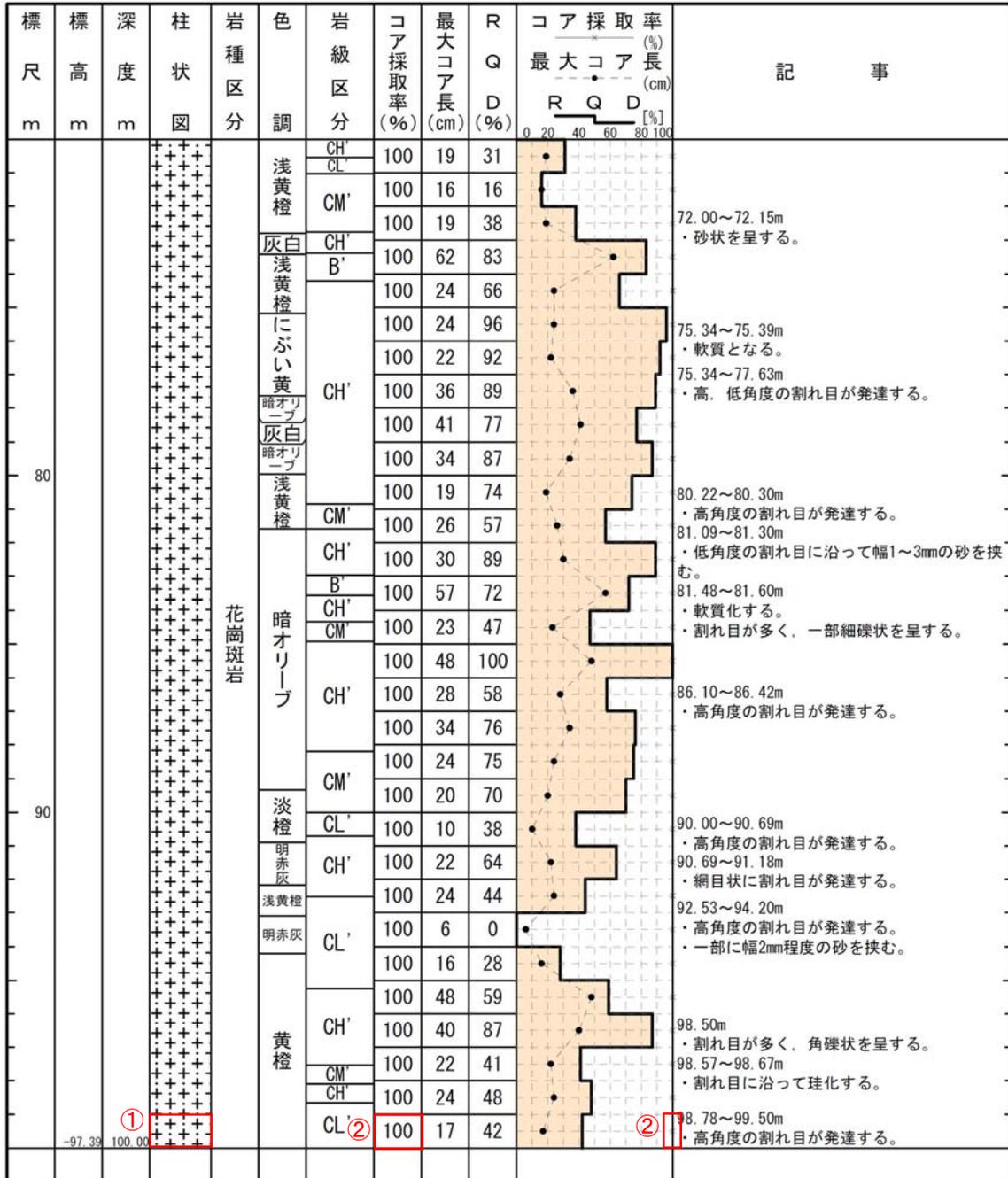
柱状図(70.00m~100.00m)



1-328(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-329(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-6

柱状図(70.00m~100.00m)



- 1-328(分類c) ①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-329(分類b) ②
 報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-12

柱状図(0.00m~35.00m)

H27-Br-12

孔口標高	T.P.	2.93m	掘削長	100.00m
------	------	-------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										R	Q	D	
	1.82	1.11	埋土 ③	黒褐色にぶい黄橙		③	100					0.00~1.11m ・埋土である。	
	0.31	2.62		礫混じりシルト質砂			100					1.11~2.62m ・礫混じりシルト質砂である。	
	0.09	2.39		シルト質砂	灰オリーブ		100					2.62~2.85m ・シルト質砂である。	
	0.09	3.47		有機質土混じりシルト質砂	オリーブ黒		100					2.85~3.02m ・有機質土混じりシルト質砂である。	
	-0.54	3.47		シルト質砂	オリーブ灰		100					3.02~3.47m ・シルト質砂である。	
				礫・シルト混じり	浅黄		100					3.47~7.70m ・礫・シルト混じり砂である。	
	-4.77	7.70			黄灰		100					7.70~10.35m ・シルト混じり礫質砂である。 ・中粒砂を主体とする。	
	-7.42	10.35		シルト質砂	灰にぶい黄橙		100					10.35~13.10m ・礫混じりシルト質砂である。	
10				礫混じりシルト質砂	灰オリーブ		100					13.10~15.22m ・礫混じり砂である。	
	-10.17	13.10			オリーブ黄		100					15.22~17.88m ・貝殻混じり砂である。 ・一部、暗褐色を呈する有機物及び腐植片を含む。	
	-12.29	15.22	礫混じり砂	灰オリーブ		100					17.88~100.00m ・花崗斑岩である。		
	-14.95	17.88	貝殻混じり砂			100					20.40m, 20.72m ・高、中角度の割れ目に沿って幅1mmの石英脈を挟む。		
20			花崗斑岩 ①	浅黄橙	D'		100	4	7	0		24.60~24.80m ・密着した割れ目が発達する。	
				淡黄	CL'		100	11	20				24.80~31.90m ・低~高角度の割れ目が発達する。 ・割れ目沿いに褐色及び灰白色の粘土を挟む
				淡黄橙			100	18	66				
				淡橙	CM'		100	18	35				31.92~32.96m ・高角度の密着した割れ目が発達する。
				浅黄			100	10	30				
				にぶい黄橙	CL'		100	17	30				32.72m ・幅10mmの石英脈を挟む。
				浅黄			100	9	0				33.50~39.05m ・高角度の割れ目が発達し、一部で低角度の割れ目と斜交する。
				浅黄橙にぶい黄橙	CM'		100	8	0				
				にぶい黄橙			100	7	0				
				淡橙	D'		100	9	0				
			灰黄褐			100	5	0					
			にぶい黄橙	CL'		100	9	0					
			明黄褐			100	25	45					
			にぶい黄橙	CM'		100	36	80					
			明黄褐			100	9	0					
			明黄褐	CL'		100	25	25					
			明黄褐			100	25	48					

- 1-330(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-331(分類d)②
記事欄の記載変更に伴う変更。(岩種区分の変更)
- 1-332(分類b)③
報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-12

柱状図(0.00m~35.00m)

H27-Br-12

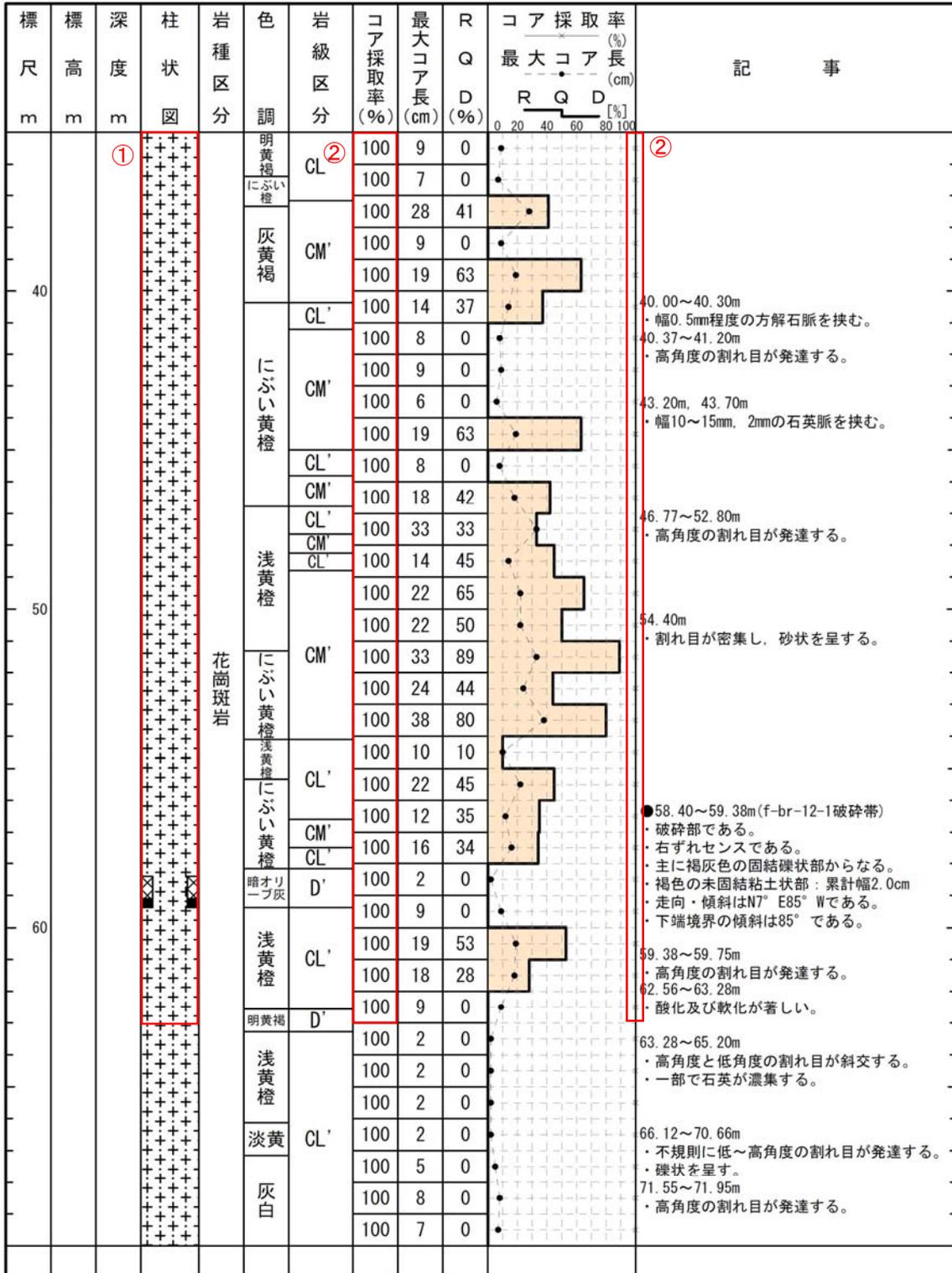
孔 口 標 高	T. P.	2.93m	掘 削 長	100.00m
---------	-------	-------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q	
	1.82	1.11		埋土	黒褐色にぶい黄橙		100					0.00~1.11m ・埋土である。	
				礫混じりシルト質砂	黄橙		100					1.11~2.62m ・礫混じりシルト質砂である。	
	0.31	2.62		シルト質砂	灰オリーブ		100					2.62~2.85m ・シルト質砂である。	
	0.09	3.47		有機質混じりシルト質砂	灰オリーブ		100					2.85~3.02m ・有機質土混じりシルト質砂である。	
	-0.54	3.47		シルト質砂	黄		100					3.02~3.47m ・シルト質砂である。	
				礫・シルト混じり	黄		100					3.47~7.70m ・礫・シルト混じり砂である。	
	-4.77	7.70		シルト質砂	黄		100					7.70~10.35m ・シルト混じり礫質砂である。	
				礫混じり砂	黄		100					・中粒砂を主体とする。	
10	-7.42	10.35		礫混じりシルト質砂	灰オリーブ		100					10.35~13.10m ・礫混じりシルト質砂である。	
				有機質混じり砂	灰オリーブ		100					13.10~15.22m ・礫混じり砂である。	
	-12.29	15.22		貝殻混じり砂	灰オリーブ		100					15.22~17.88m ・貝殻混じり砂である。	
				貝殻混じり砂	灰オリーブ		100					・一部、暗褐色を呈する有機物及び腐植片を含む。	
	-14.95	17.88		花崗斑岩	浅黄橙	D'	100	4	7	0		17.88~100.00m ・花崗斑岩である。	
20				花崗斑岩	淡黄	CL'	100	11	18	20		20.40m, 20.72m ・高、中角度の割れ目に沿って幅1mmの石英脈を挟む。	
				花崗斑岩	淡橙	CL'	100	18	18	35			
				花崗斑岩	浅黄	CL'	100	10	10	30			
				花崗斑岩	にぶい黄橙	CM'	100	17	17	30		24.60~24.80m ・密着した割れ目が発達する。	
				花崗斑岩	浅黄	CL'	100	9	9	0		24.80~31.90m ・低~高角度の割れ目が発達する。	
				花崗斑岩	浅黄橙にぶい黄橙	CM'②	100	8	8	0		・割れ目沿いに褐色及び灰白色の粘土を挟む	
				花崗斑岩	にぶい黄橙	D'	100	7	7	0			
				花崗斑岩	淡橙	CL'	100	9	9	0			
				花崗斑岩	灰黄褐	CM'	100	25	25	45		31.92~32.96m ・高角度の密着した割れ目が発達する。	
				花崗斑岩	にぶい黄橙	CL'	100	36	36	80			
				花崗斑岩	明黄褐	CM'	100	9	9	0		32.72m ・幅10mmの石英脈を挟む。	
				花崗斑岩	明黄褐	CM'	100	25	25	25		33.50~39.05m ・高角度の割れ目が発達し、一部で低角度の割れ目と斜交する。	
				花崗斑岩	明黄褐	CL'	100	25	25	48			

- 1-330(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-332(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-12

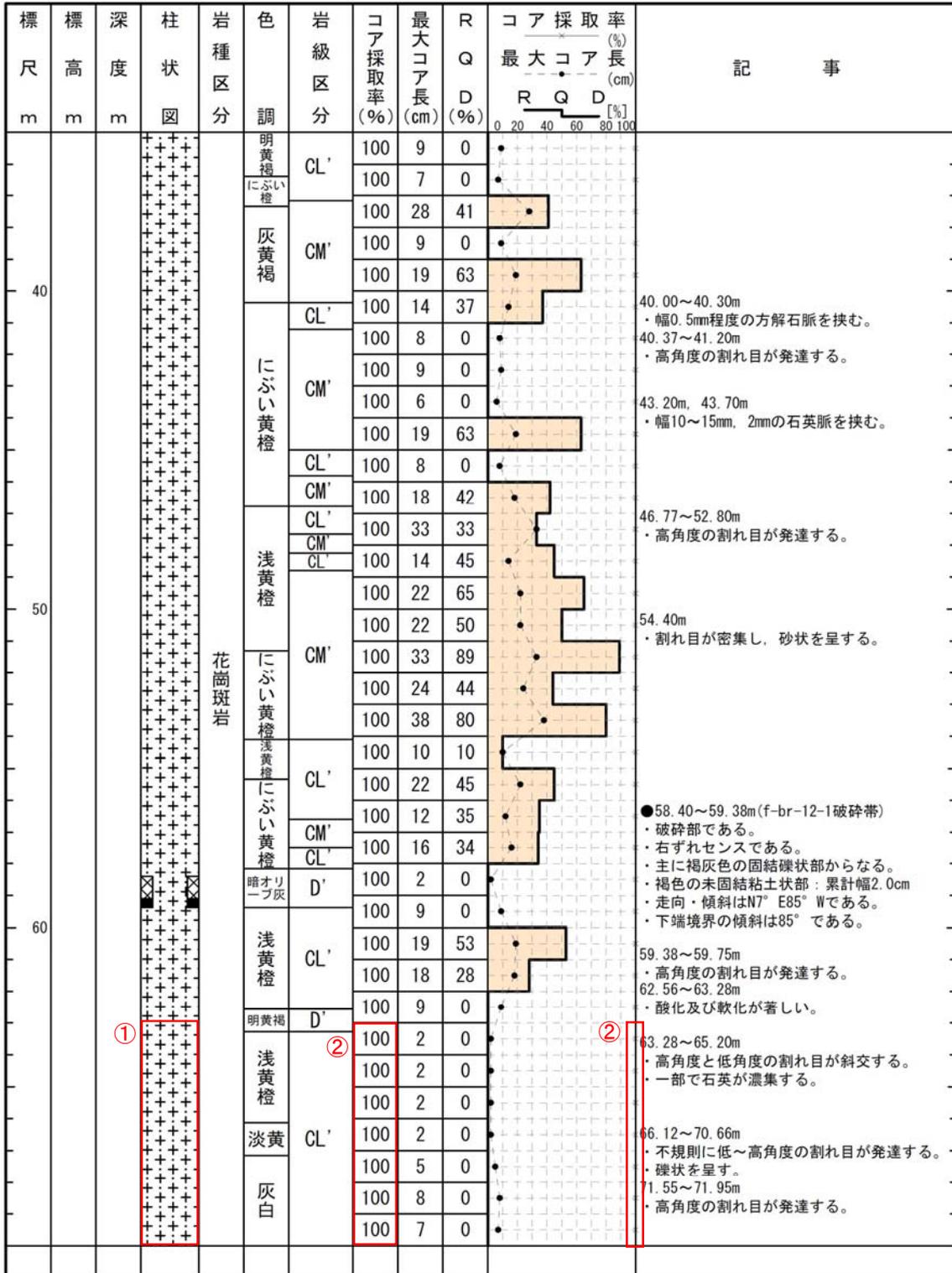
柱状図(35.00m~70.00m)



1-330(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-332(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-12

柱状図(35.00m~70.00m)



1-330(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-332(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-12

柱状図(70.00m~100.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア長 (cm)	R	Q	
		①		花崗斑岩	灰白	CL'	100	3	0				●71.95~72.72m(f-br-12-2破砕帯) ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に灰褐色の固結礫状部からなる。 ・明黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.7cm ・走向・傾斜はN6° W85° Wである。 ・上端境界の傾斜は80°，下端境界の傾斜は80°である。 74.44~80.10m ・低~高角度の割れ目が発達する。 ・岩片状を呈する。 81.02~82.36m ・中~高角度の割れ目が発達する。 83.94~86.80m ・割れ目が密に発達する。 ・岩片状を呈する。 86.80~89.26m ・低角度と高角度の割れ目が斜交する。 ・一部礫状を呈する。 ●89.68~90.32m(f-br-12-3破砕帯) ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に橙色の未固結礫状部からなる。 ・褐色の未固結粘土状部：累計幅1.7cm ・走向・傾斜はN31° E78° NWである。 ・上端境界の傾斜は75°，下端境界の傾斜は85°である。 90.35~93.53m ・割れ目が網目状に発達する。 ・一部岩片状~礫状を呈する。 99.29~100.00m ・高角度と低角度の割れ目が斜交する。 ・礫状を呈する。
					灰黄褐	D' ②	100	2	0				
						淡黄		100	1	0			
						浅黄橙		100	2	0			
						にふい橙	CL'	100	4	0			
						浅黄		100	2	0			
						にふい橙		100	9	0			
						浅黄		100	8	0			
						にふい橙	CL'	100	8	0			
						浅黄		100	9	0			
						にふい橙		100	9	0			
						明黄褐	CM'	100	7	0			
						浅黄橙		100	2	0			
						明褐灰		100	2	0			
						灰褐	CL'	100	3	0			
						浅黄橙		100	4	0			
						明褐灰		100	2	0			
						灰褐	CL'	100	1	0			
						浅黄橙		100	2	0			
						にふい黄橙		100	2	0			
				淡橙		100	1	0					
				浅黄	D'	100	1	0					
				にふい橙		100	5	0					
				にふい橙		100	5	0					
				灰褐	CL'	100	2	0					
				にふい橙		100	9	0					
				明赤灰		100	7	0					

- 1-330(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-332(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-12

柱状図(70.00m~100.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記事
										最大 コア長 (cm)	R	Q	
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	3	0				<ul style="list-style-type: none"> ●71.95~72.72m(f-br-12-2破砕帯) ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に灰褐色の固結礫状部からなる。 ・明黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.7cm ・走向・傾斜はN6° W85° Wである。 ・上端境界の傾斜は80°，下端境界の傾斜は80°である。 74.44~80.10m ・低~高角度の割れ目が発達する。 ・岩片状を呈する。 81.02~82.36m ・中~高角度の割れ目が発達する。 83.94~86.80m ・割れ目が密に発達する。 ・岩片状を呈する。 86.80~89.26m ・低角度と高角度の割れ目が斜交する。 ・一部礫状を呈する。 ●89.68~90.32m(f-br-12-3破砕帯) ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に橙色の固結礫状部からなる。 ・褐色の未固結粘土状部：累計幅1.7cm ・走向・傾斜はN31° E78° NWである。 ・上端境界の傾斜は75°，下端境界の傾斜は85°である。 90.35~93.53m ・割れ目が網目状に発達する。 ・一部岩片状~礫状を呈する。 99.29~100.00m ・高角度と低角度の割れ目が斜交する。 ・礫状を呈する。
					灰黄褐	D'	100	2	0				
					淡黄		100	1	0				
					浅黄橙	CL'	100	2	0				
					にぶい橙		100	4	0				
					浅黄		100	2	0				
					にぶい橙	CL'	100	9	0				
					浅黄		100	8	0				
					にぶい橙	CM'	100	9	0				
					浅黄		100	8	0				
					明黄褐	CL'	100	9	0				
					にぶい橙		100	7	0				
					明黄橙		100	2	0				
					明褐灰	CL'	100	2	0				
					浅黄橙		100	3	0				
					明褐灰		100	2	0				
					灰褐	CL'	100	4	0				
					浅黄橙		100	1	0				
					にぶい黄橙	CL'	100	2	0				
					淡橙		100	2	0				
				淡橙	D'	100	1	0					
				浅黄		100	1	0					
				にぶい橙	CL'	100	5	0					
				灰褐		100	5	0					
				にぶい橙	CL'	100	2	0					
				明赤灰		100	9	0					
				明赤灰	②	100	7	0					

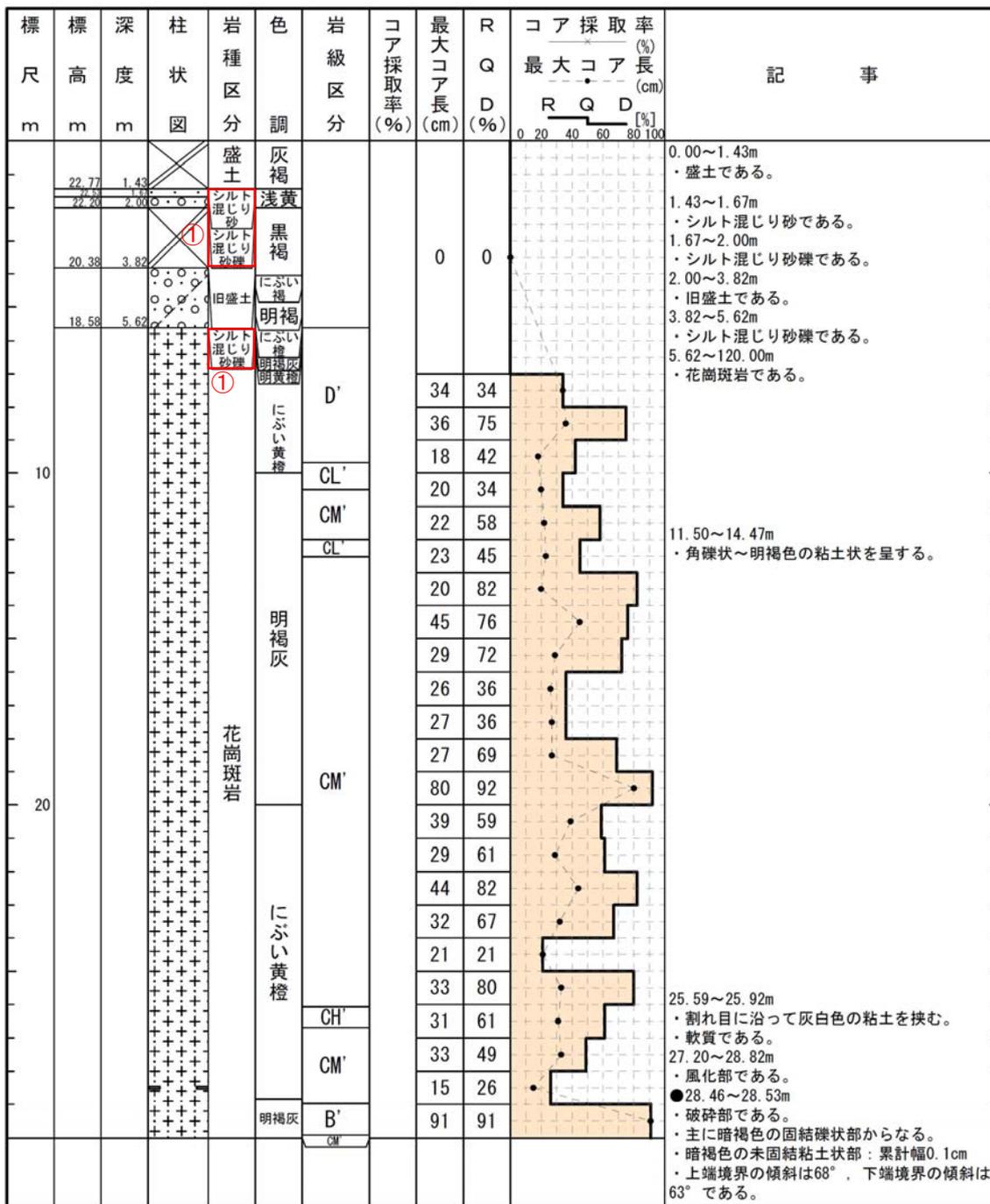
- 1-330(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-332(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

H19-No. 10

柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 10

孔口標高	T.P. 24.20m	掘削長	120.00m
------	-------------	-----	---------



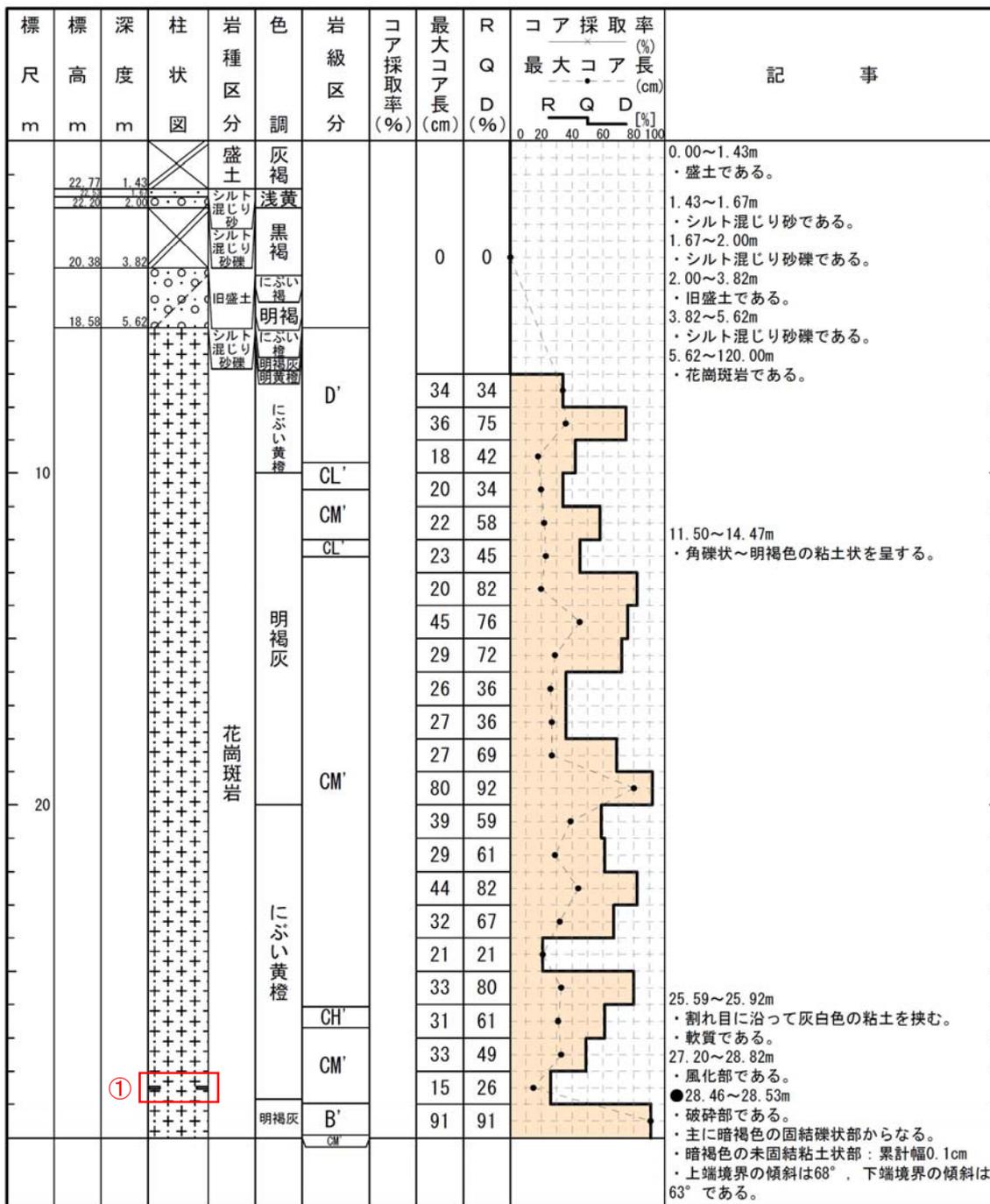
1-333~1-335(分類c)①
表現を統一したため。

H19-No. 10

柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 10

孔 口 標 高	T.P.	24.20m	掘 削 長	120.00m
---------	------	--------	-------	---------



1-336(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

H19-No. 5

柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 5

孔 口 標 高	T.P.	3.30m	掘 削 長	150.00m
---------	------	-------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	最 大 コ ア 長 (cm)	
				埋土								0.00~3.15m ・埋土である。
			①	有機質シルト	オリブ黒							3.15~3.52m ・有機質シルトである。
			②	有機質砂	灰色黒褐色							3.52~3.85m ・有機質砂である。
			②	有機質粘土混じり砂	暗灰黄							3.85~4.45m ・有機質土である。
				砂	灰黄							4.45~4.59m ・粘土混じり砂である。
					暗灰青							4.59~11.78m ・砂である。
			②	砂	黄褐							
				有機質混じり砂	灰色							11.78~13.35m ・有機質混じり砂である。
				砂	黄褐							13.35~16.00m ・砂である。
			②	シルト混じり砂	灰色							16.00~18.75m ・シルト混じり砂である。
			①	砂	灰オリブ							18.75~20.50m ・砂である。
			②	礫混じり砂	黄灰							20.50~21.45m ・礫混じり砂である。
				礫混じり砂	灰黄褐							21.45~21.85m ・礫である。
			①	砂	黒褐							21.85~22.50m ・礫混じり砂である。
			②	砂礫	灰褐							22.50~23.25m ・砂である。
				玉石混じり砂礫	黄褐							23.25~24.43m ・砂礫である。
					灰褐							24.43~28.50m ・玉石混じり砂礫である。
				礫混じり砂	明赤灰							28.50~32.44m ・礫混じり砂である。

1-337~1-340(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-341~1-347(分類c)②
 表現を統一したため。

H19-No. 5

柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 5

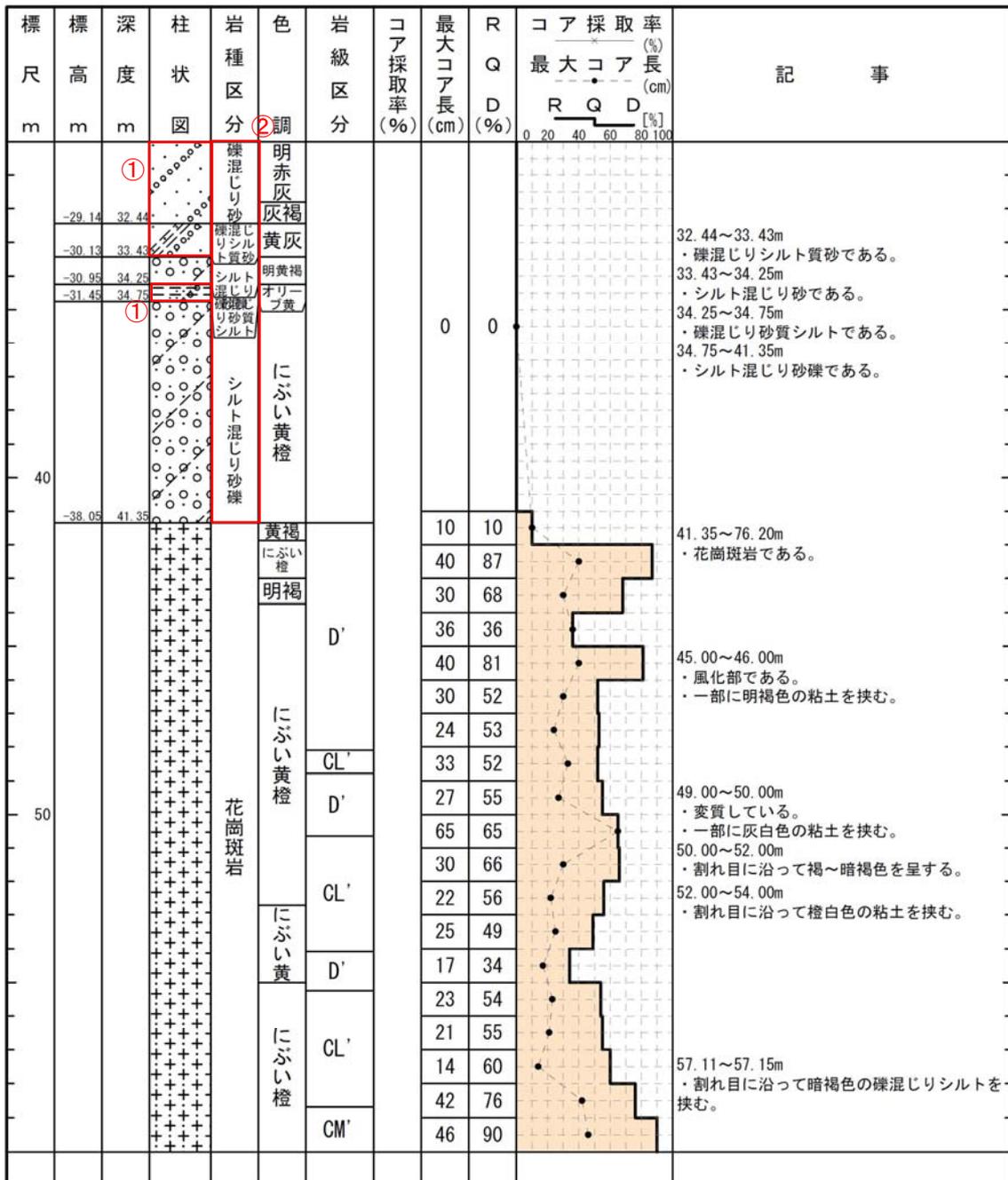
孔 口 標 高	T.P.	3.30m	掘 削 長	150.00m
---------	------	-------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%) 最 大 コ ア 長 (cm) R Q D [%]	記 事
				埋土							0.00~3.15m ・埋土である。
		0.15									
		3.15		有機質シルト	オリブ黒						3.15~3.52m ・有機質シルトである。
		-0.22		有機質砂	灰色						3.52~3.85m ・有機質砂である。
		-0.59		有機質砂	黒色						3.85~4.45m ・有機質土である。
		-1.15		有機質粘土混じり砂	暗灰黄						4.45~4.59m ・粘土混じり砂である。
		-1.27		砂	黄灰						4.59~11.78m ・砂である。
10				砂	暗灰黄						
		-8.48		砂	黄褐						
		-10.05		有機質混じり砂	灰色						11.78~13.35m ・有機質混じり砂である。
		-12.70		砂	黄褐		0	0			13.35~16.00m ・砂である。
		-15.45		シルト混じり砂	灰色						16.00~18.75m ・シルト混じり砂である。
		-17.20		砂	灰オリブ						18.75~20.50m ・砂である。
20		-18.15		礫混じり砂	黄灰						20.50~21.45m ・礫混じり砂である。
		-18.59		礫混じり砂	灰黄褐						21.45~21.85m ・礫である。
		-19.20		砂	黒褐						21.85~22.50m ・礫混じり砂である。
		-21.13		砂礫	灰褐						22.50~23.25m ・砂である。
		-23.25		玉石混じり砂礫	黄褐						23.25~24.43m ・砂礫である。
		-24.43		砂礫	灰褐						24.43~28.50m ・玉石混じり砂礫である。
		-25.20		礫混じり砂	明赤灰						28.50~32.44m ・礫混じり砂である。

- 1-348(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-347, 1-349(分類c)②
 表現を統一したため。

H19—No. 5

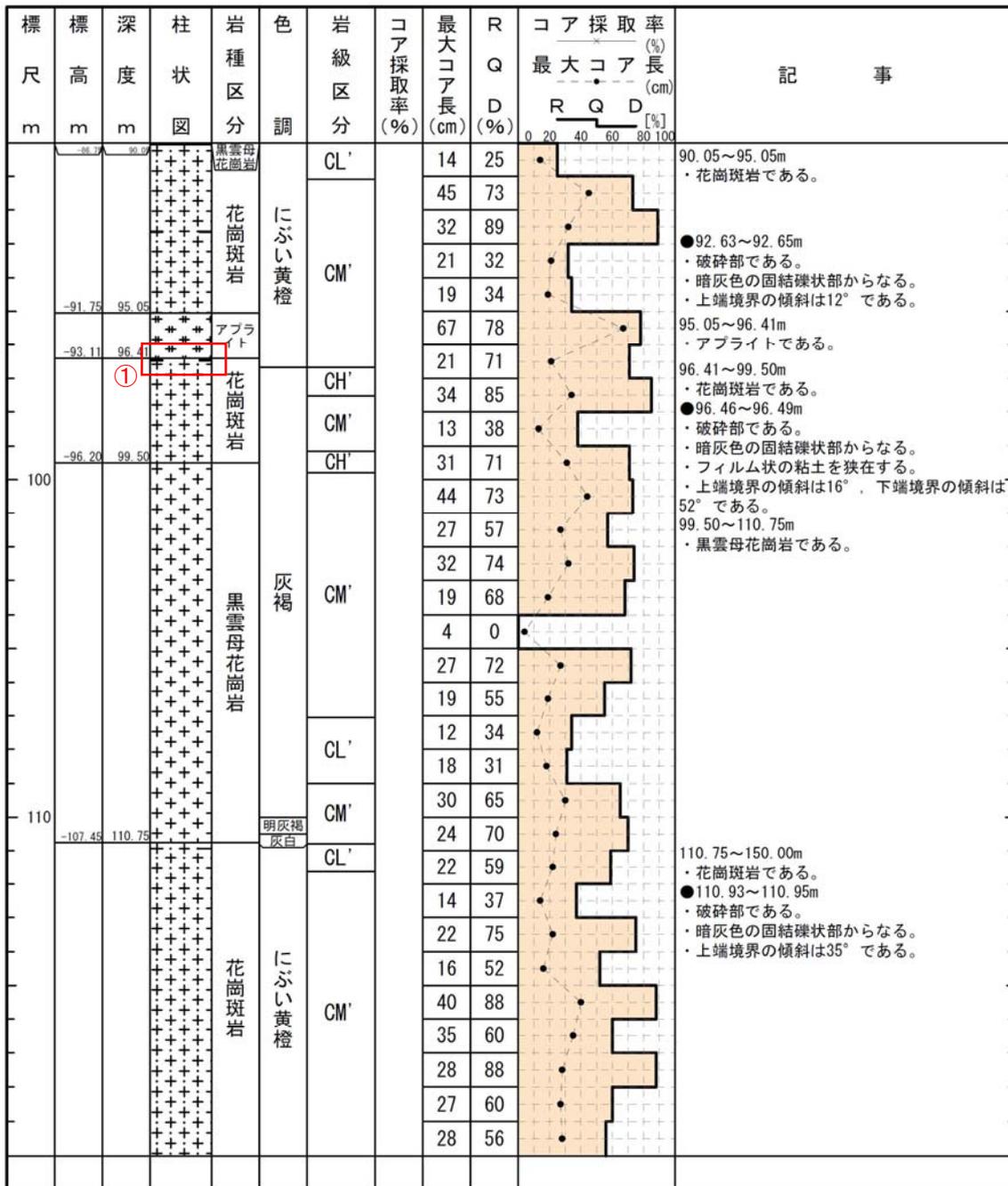
柱状図(30.00m～60.00m)



1-348, 1-350, 1-351(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-349, 1-352～1-355(分類c)②
 表現を統一したため。

H19—No. 5

柱状図(90.00m～120.00m)



1-356(分類d)①
 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

H20-④-4

柱状図(0.00m~35.00m)

H20-④-4

孔口標高	T.P.	34.71m	掘削長	35.00m
------	------	--------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記事
		①	シルト質砂	暗褐 明褐	②	CL'	100	7	0	0	0	0.00~1.44m ・シルト質砂である。
	33.27	1.44	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	D'	CL'	100	7	0	0	0	1.44~1.72m ・花崗斑岩である。
	31.91	2.80	花崗斑岩 アブライト	灰白	CL'	CL'	100	13	13	0	0	1.72~1.97m ・アブライトである。
	30.59	4.12	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	D'	D'	100	21	32	0	0	1.97~2.80m ・中角度~高角度の割れ目が発達する。 ・割れ目に沿って白色の粘土を伴う。 ・軟質である。
	28.99	5.72	花崗斑岩 アブライト	灰白	CL'	CL'	100	17	17	0	0	2.80~4.12m ・変質している。 ・割れ目に沿って灰白色の粘土を網目状に挟む。
	25.66	9.05	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	D'	D'	100	13	35	0	0	4.12~5.72m ・変質している。
	23.56	11.15	花崗斑岩 アブライト	淡橙	CL'	CL'	100	18	58	0	0	5.72~9.05m ・変質している。
	21.54	13.17	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CM'	CM'	100	18	29	0	0	9.05~11.15m ・変質している。
	20.68	14.03	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CM'	CM'	100	19	45	0	0	11.15~13.17m ・変質している。
	18.77	15.94	花崗斑岩 アブライト	浅黄	CL'	CL'	100	9	0	0	0	13.17~15.94m ・変質している。
	15.41	19.30	花崗斑岩 アブライト	灰白	CL'	CL'	100	23	23	0	0	15.94~18.77m ・変質している。
	11.41	23.30	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CH'	CH'	100	27	82	0	0	18.77~20.68m ・変質している。
	8.59	26.12	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	23	33	0	0	20.68~21.54m ・変質している。
	5.06	29.65	花崗斑岩 アブライト	灰白	CL'	CL'	100	21	33	0	0	21.54~23.30m ・変質している。
	4.30	30.41	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	18	28	0	0	23.30~25.66m ・変質している。
	3.11	31.60	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	13	57	0	0	25.66~28.99m ・変質している。
	-0.29	35.00	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	24	46	0	0	28.99~30.59m ・変質している。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	7	0	0	0	30.59~31.91m ・変質している。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	7	0	0	0	31.91~33.27m ・変質している。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	7	0	0	0	33.27~35.00m ・変質している。

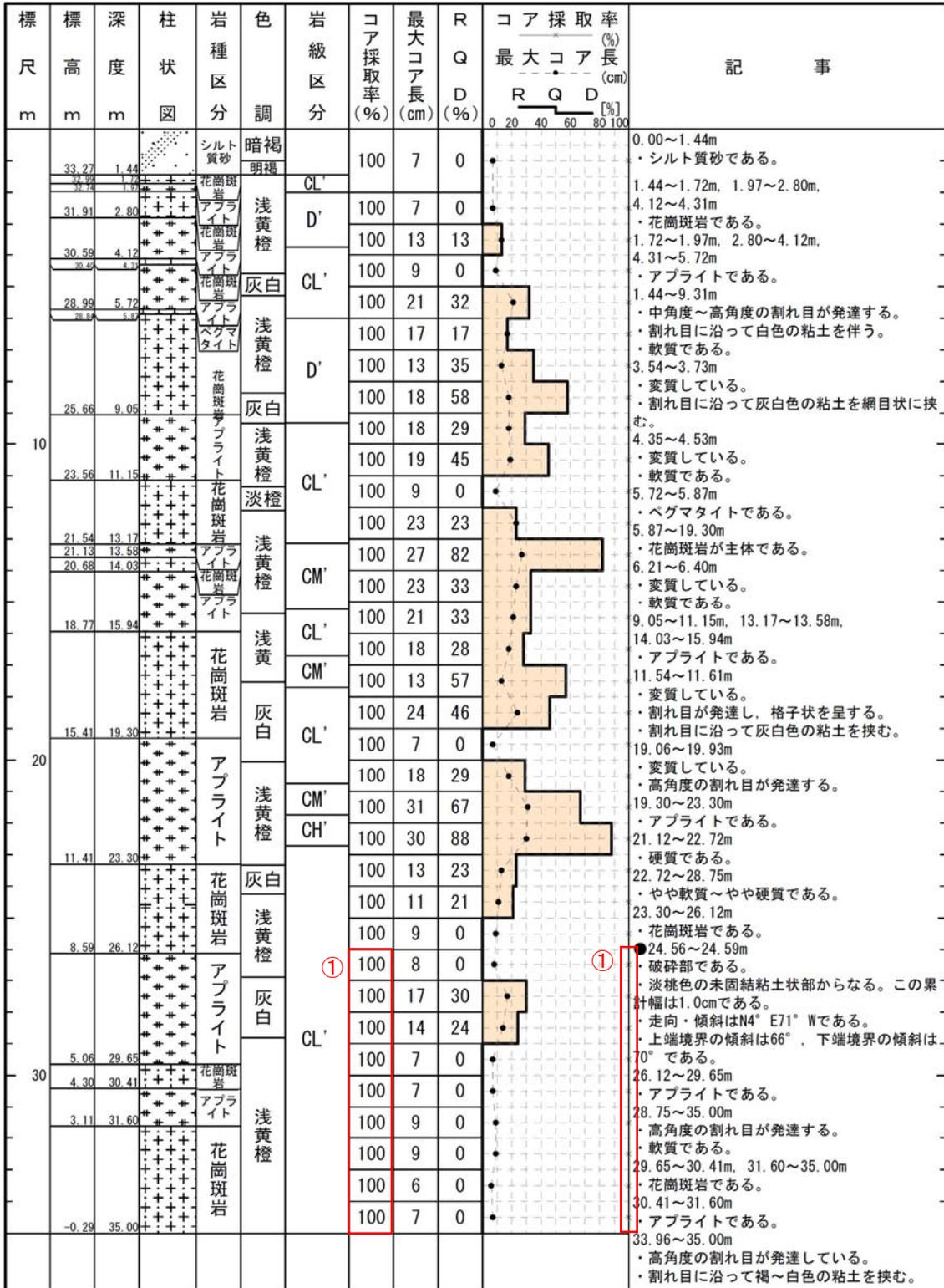
- 1-357(分類c) ①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-358(分類b) ②
報告書の記載漏れを修正したため。

H20-④-4

柱状図(0.00m~35.00m)

H20-④-4

孔口標高	T.P.	34.71m	掘削長	35.00m
------	------	--------	-----	--------



1-358(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

H24-B8-15

柱状図(0.00m~30.00m)

H24-B8-15

孔 口 標 高	T.P.	6.92m	掘 削 長	70.00m
---------	------	-------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事			
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q		D		
										0	20	40	60	80	100	
		-4.54	12.64													0.00~12.64m ・コア欠。
		-7.42	15.82	礫質砂	明オリ ニブ灰		100	100								12.64~15.82m ・礫質砂である。
		-7.42	15.82	① 砂礫	オリ ニブ灰		100	100								
		-7.42	15.82	② 砂礫	明黄褐 灰		100	100								15.82~16.05m ・砂礫である。
		-7.42	15.82	砂礫	明黄褐 灰		100	100								16.05~16.24m ・礫・砂混じり有機質シルトである。
		-9.56	18.18	礫質砂	明黄褐 灰		100	100								16.24~18.18m ・礫質砂である。
		-10.56	19.29	礫質砂	明黄褐 灰		100	100								18.18~18.49m ・礫混じりシルト質砂である。
		-12.47	21.40	礫混じりシルト質砂	明黄褐 灰		100	100								18.49~19.29m ・礫混じり砂である。
		-12.78	21.72	礫混じり砂	明黄褐 灰		100	100								19.29~19.52m ・礫混じり粘土質シルトである。
		-15.07	24.26	礫混じり粘土質シルト	明黄褐 灰		100	100								19.52~21.40m ・砂である。
		-15.76	25.03	砂	明黄褐 灰		100	100								21.40~21.72m ・礫混じり砂質シルトである。
		-19.30	28.93	礫混じり砂質シルト	明黄褐 灰		100	100								21.72~24.26m ・礫混じりシルト質砂である。
		-19.30	28.93	礫混じり砂質シルト	明黄褐 灰		100	100								24.26~28.93m ・礫混じりシルト質粘土である。
		-19.30	28.93	礫混じり粘土質シルト	明黄褐 灰		100	100								24.61~25.03m ・礫混じりシルト質粘土である。
		-19.30	28.93	礫混じり粘土質シルト	明黄褐 灰		100	100								25.03~28.93m ・砂礫である。
		-19.30	28.93	礫混じり粘土質シルト	明黄褐 灰		100	100								28.93~31.42m ・玉石混じり砂礫である。
				砂礫	明黄褐 灰											
				にふい 黄褐 黄褐												
				玉石混 じり砂 礫												

- 1-359(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(柱状図模様の変更)
- 1-360(分類d)②
記事欄の記載変更に伴う変更。(岩種区分の変更)

H24-B8-35

柱状図(0.00m~30.00m)

H24-B8-35

孔口標高	T.P.	7.15m	掘削長	50.00m
------	------	-------	-----	--------

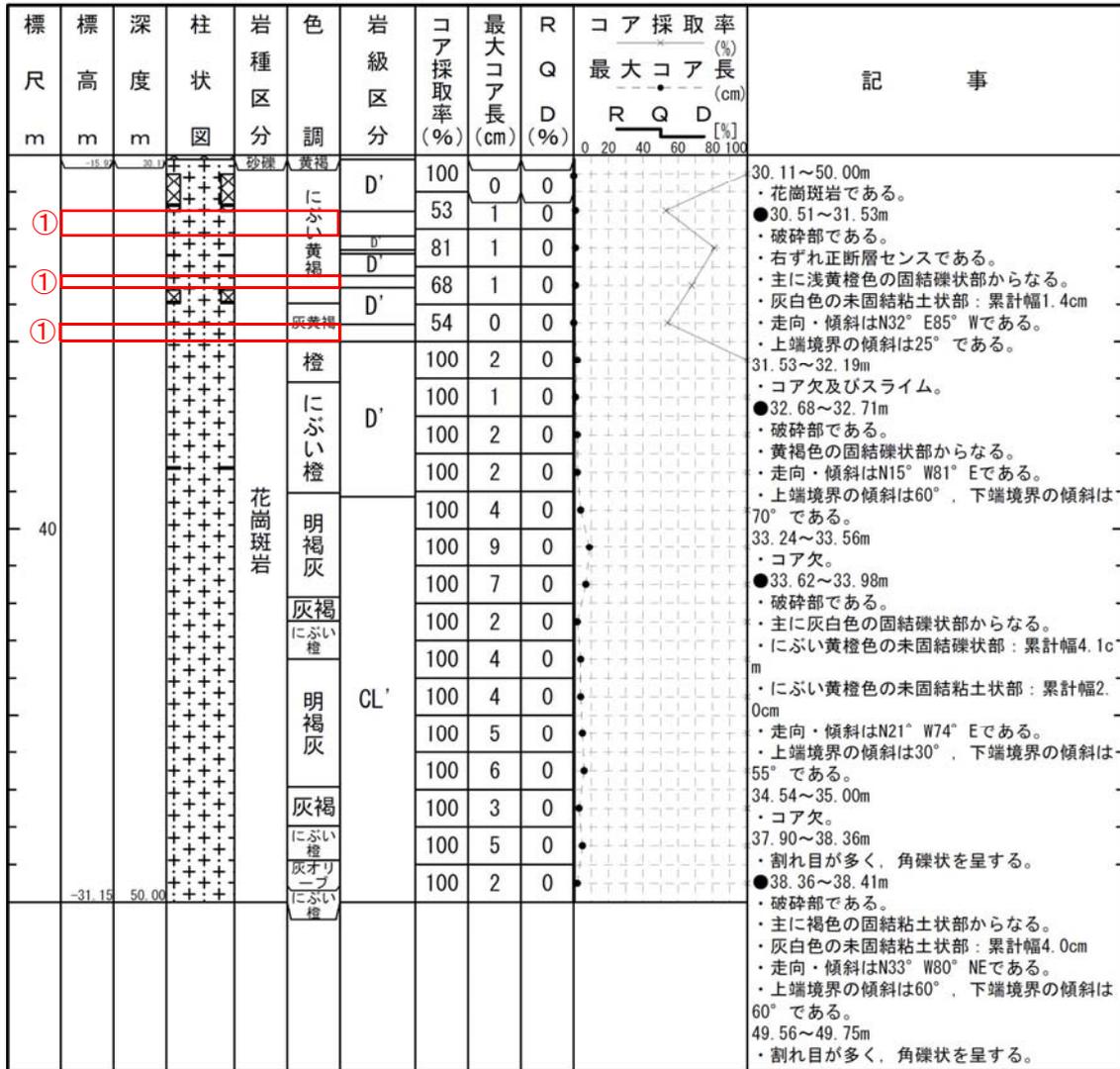
標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
				埋戻し土	黒褐		100						0.00~2.05m ・埋戻し土である。
	5.58	2.05		盛土	にぶい黄褐		100						2.05~6.65m ・盛土である。
		2.05		盛土	にぶい黄褐		100						6.65~6.90m ・粘土混じり砂である。
		6.65		盛土	にぶい黄褐		100						6.90~7.20m ・砂混じり粘土である。
		7.20		盛土	にぶい黄褐		100						7.20~8.08m ・砂である。
		8.08		盛土	にぶい黄褐		100						8.08~8.69m ・高有機質土である。
		8.69		盛土	にぶい黄褐		100						8.69~9.92m ・有機物混じり砂である。
		9.92		盛土	にぶい黄褐		100						9.92~10.40m ・高有機質土である。
		10.40		盛土	にぶい黄褐		100						10.40~11.78m ・砂である。
		11.78		盛土	にぶい黄褐		100						11.78~12.60m ・高有機質土である。
		12.60		盛土	にぶい黄褐		100						12.60~13.13m ・砂である。
		13.13		盛土	にぶい黄褐		100						13.13~13.48m ・砂である。
		13.48		盛土	にぶい黄褐		100						13.48~13.58m ・スライム。
		13.58		盛土	にぶい黄褐		100						13.58~15.35m ・砂である。
		15.35		盛土	にぶい黄褐		100						15.35~17.21m ・礫混じり砂である。
		17.21		盛土	にぶい黄褐		100						17.21~17.56m ・砂である。
		17.56		盛土	にぶい黄褐		100						17.56~17.73m ・砂混じりシルトである。
		17.73		盛土	にぶい黄褐		100						17.73~20.34m ・砂である。
		20.34		盛土	にぶい黄褐		100						20.34~20.76m ・スライム。
		20.76		盛土	にぶい黄褐		100						20.76~22.00m ・砂混じり粘土である。
		22.00		盛土	にぶい黄褐		100						22.00~23.38m ・礫である。
		23.38		盛土	にぶい黄褐		100						23.38~24.15m ・砂礫である。
		24.15		盛土	にぶい黄褐		100						24.15~25.32m ・礫である。
		25.32		盛土	にぶい黄褐		100						25.32~26.50m ・砂である。
		26.50		盛土	にぶい黄褐		100						26.50~26.97m, 27.51~28.10m ・スライム。
		26.97		盛土	にぶい黄褐		100						26.97~27.51m ・礫混じり砂である。
		27.51		盛土	にぶい黄褐		100						27.51~28.10m ・砂礫である。
		28.10		盛土	にぶい黄褐		100						28.10~30.11m ・砂礫である。

1-361, 1-362 (分類c) ①
表現を統一したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q C D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (N値~深度) 試験		原位置試験 (孔内水平距離)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)		
														N	図													
	-8.43	20.34	砂	にぶい黄褐色						20.34~20.76m: スライムである。				0														
	-8.75	20.76	スライム	にぶい黄褐色						20.76~22.00m: 砂混じり粘土である。				50														
	-9.70	22.00	砂混じり粘土	にぶい黄褐色						締まった粘土で細粒~粗粒砂が上方細粒化し、僅かに炭化物片も混入する。				100														
	-10.76	23.38	礫	にぶい黄褐色						20.76~21.38m: 最大径60mmの硬質礫を含む砂混じり砂質粘土、砂礫を呈する。				100														
	-11.35	24.15	砂礫	にぶい黄褐色						22.00~23.38m: 礫である。径40~570mm(コア長)の硬質な花崗斑岩垂直礫が主となる。				100														
	-12.25	25.32	砂	にぶい黄褐色						23.38~24.15m: 砂礫である。礫は径2~5mmの石英、長石、5~200mmの花崗斑岩垂直~垂直角で半クサリ礫が主となり、礫率は50%程度である。基質は締まった粘土混じり中粒砂からなる。				100														
	-13.15	26.50	砂	にぶい黄褐色						24.15~25.32m: 礫である。径10~610mmの垂直~垂直角礫からなる。一部に石英、長石を含む粗粒砂を含む。				100														
	-13.51	26.97	スライム	にぶい黄褐色						25.32~26.50m: 砂である。径3~6mmの石英を含む粗粒砂が主となる。				100														
	-13.92	27.51	スライム	にぶい黄褐色						26.29~26.50m: 硬質なアフライト礫からなる。				100														
	-14.38	28.10	砂礫	にぶい黄褐色						26.50~26.97m: スライムである。				100														
	-15.92	30.11	砂礫	にぶい黄褐色						26.97~27.51m: 砂混じり砂である。粗粒砂が主となる。全体に緩い。径5mmまでの石英、長石、30mmまでの花崗斑岩、アフライト礫を含む。				100														
30	-17.11	31.67	花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	2	30.11~50.00m: 花崗斑岩である。30.11~30.51m: 著しく軟化する。				100														
	-17.36	32.00	花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	3	●30.51~31.53m: 破砕部 破砕幅は75.3cmである。				100														
	-18.31	33.24	花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	3	30.51~30.75m: 浅黄褐色の割れ目の密無部からなる。上端境界の傾斜は25°である。				100														
	-18.56	33.56	花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	4	30.75~31.33m: 角礫質粘土状を呈し、浅黄褐色の固結した礫状部からなる。下端境界の傾斜は70°である。				100														
	-19.31	34.54	花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	3	31.33~31.38m: 灰白色の粘土状を呈する。未固結の粘土状部からなり、幅は1.4cmである。下端境界の傾斜は68°である。石英粒を含む。				100														
	-19.66	35.00	花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	3	31.38~31.53m: 浅黄褐色の固結した礫状部からなる。径10mmまでの岩片を含む。31.42m以深は大半が径5~30mmの粘土した岩片で、岩片間には幅1~2mmの粘土脈が分布する。				100														
			橙	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	3	31.53~31.67m: スライムである。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	2	31.67~32.00m: コア欠				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	3	32.00~32.19m: スライムである。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	3	32.19~32.68m: 著しく軟化している。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	3	32.55~32.65m: スライムである。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	2	●32.68~32.71m: 破砕部 破砕幅は1.8cmである。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	3	角礫質粘土状を呈し、黄褐色の固結した礫状部からなる。上端境界の傾斜は60°、下端境界の傾斜は70°である。径20mmまでの石英、長石、岩片を多く含む。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	3	32.71~33.24m: 著しく軟化している。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	3	33.24~33.56m: コア欠				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	3	●33.62~33.98m: 破砕部 破砕幅は18.0cmである。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	3	33.62~33.89m: 粘土混じり角礫状を呈し、灰白色の固結した礫状部からなる。上端境界の傾斜は30°、下端境界の傾斜は60°である。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	3	33.89~33.93m: にぶい黄褐色の角礫質粘土状を呈する。未固結の礫状部からなり、幅は4.1cmである。下端境界の傾斜は60°である。上から明赤灰色、橙色、灰白色、にぶい黄褐色の粘土が縞状に分布する。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	3	33.93~33.95m: にぶい黄褐色の粘土状を呈する。未固結の粘土状部からなり、幅は2.0cmである。径5mmまでの石英、岩片を含む。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	3	33.95~33.98m: 角礫質粘土状を呈し、灰白色の固結した礫状部からなる。下端境界の傾斜は55°である。径5mmまでの石英、岩片を含む。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	3	34.54~35.00m: コア欠				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	3	37.21~37.22m: 幅8mm、明灰オリブ色の粘土脈を挟む。傾斜40°で波打つ。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	3	37.90~38.36m: 岩片状を呈する。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	3	●38.36~38.41m: 破砕部 破砕幅は4.0cmである。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	3	灰白色の粘土状を呈する。未固結の粘土状部からなり、幅は4.0cmである。径10mmまでの岩片を含む。				100														
			明褐色	にぶい黄褐色	Dg	VIg	cg	δ	3	40.80m: 傾斜50°の割れ目の下盤割が幅2~5mmで緑色化している。微細な不透明鉱物が晶出している。				100														

H24-B8-35

柱状図(30.00m~50.00m)



1-363(分類a)①
コア欠の反映を忘れたため。

H24-B8-36

柱状図(0.00m~36.00m)

H24-B8-36

孔口標高	T.P.	7.13m	掘削長	36.00m
------	------	-------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記事
										最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	R Q D (%)	
	5.58	1.65		埋戻し土	にぶい黄橙		100					0.00~1.65m ・埋戻し土である。	
				改良土	にぶい黄橙		100					1.65~8.33m ・改良土である。	
	-0.70	8.33		有機物混じり砂	灰黄褐		100					8.33~8.49m ・有機物混じり砂である。	
	-1.84	9.55		礫混じり砂	にぶい黄橙		100					8.49~9.55m ・礫混じり砂である。	
	-2.17	9.90		粘土	にぶい黄橙		100					9.55~9.90m ・粘土である。	
	-3.85	11.68		砂混じりシルト	にぶい黄橙		68					9.90~11.68m ・砂混じりシルトである。	
	-4.22	12.08		スライム	灰		92					11.68~12.08m ・スライム。	
	-4.90	12.80		砂	明黄褐		100					12.08~12.22m ・砂である。	
	-5.55	13.49		粘土	にぶい黄橙		100					12.22~12.80m ・粘土である。	
	-6.05	14.03		砂礫	にぶい黄橙		100					12.80~13.49m ・少量の砂が混じる。	
	-6.97	15.00		砂	明褐		100					13.49~14.03m ・砂である。	
	-10.21	18.45		シルト	にぶい黄橙		100					14.03~15.00m ・粗粒砂が主体である。	
	-10.59	18.86		砂	灰黄		100					15.00~18.45m ・砂礫である。	
	-13.83	22.30		砂礫	黄橙		100	1	0			18.45~18.86m ・シルト混じり砂である。	
				花崗斑岩	灰白		100	1	0			18.86~22.30m ・砂礫である。	
				花崗斑岩	褐灰		100	1	0			22.30~36.00m ・花崗斑岩である。	
				花崗斑岩	にぶい黄橙		100	1	0			●24.19~27.68m ・破碎部である。	
				花崗斑岩	にぶい黄橙		100	1	0			・主に浅黄橙色の固結礫状部からなる。	
				花崗斑岩	にぶい黄橙		100	2	0			・にぶい黄橙色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm	
				花崗斑岩	にぶい黄橙		100	4	0			・走向・傾斜はN31° E88° SEである。	
				花崗斑岩	にぶい黄橙		100	4	0			・上端境界の傾斜は40°である。	
				花崗斑岩	にぶい黄橙		100	2	0			●30.00~30.36m ・破碎部である。	
				花崗斑岩	にぶい黄橙		100	1	0			・右ずれ正断層センスである。	
				花崗斑岩	にぶい黄橙		100	1	0			・主に浅黄橙色の固結礫状部からなる。	
				花崗斑岩	にぶい黄橙		100	1	0			・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm	
	-26.70	36.00		明褐灰	明褐灰	CL	100	3	0			・走向・傾斜はN37° E71° Wである。	
				浅黄橙	浅黄橙							・下端境界の傾斜は60°である。	
				にぶい黄橙	にぶい黄橙								

1-364, 1-365(分類c)①
表現を統一したため。

参考3-877

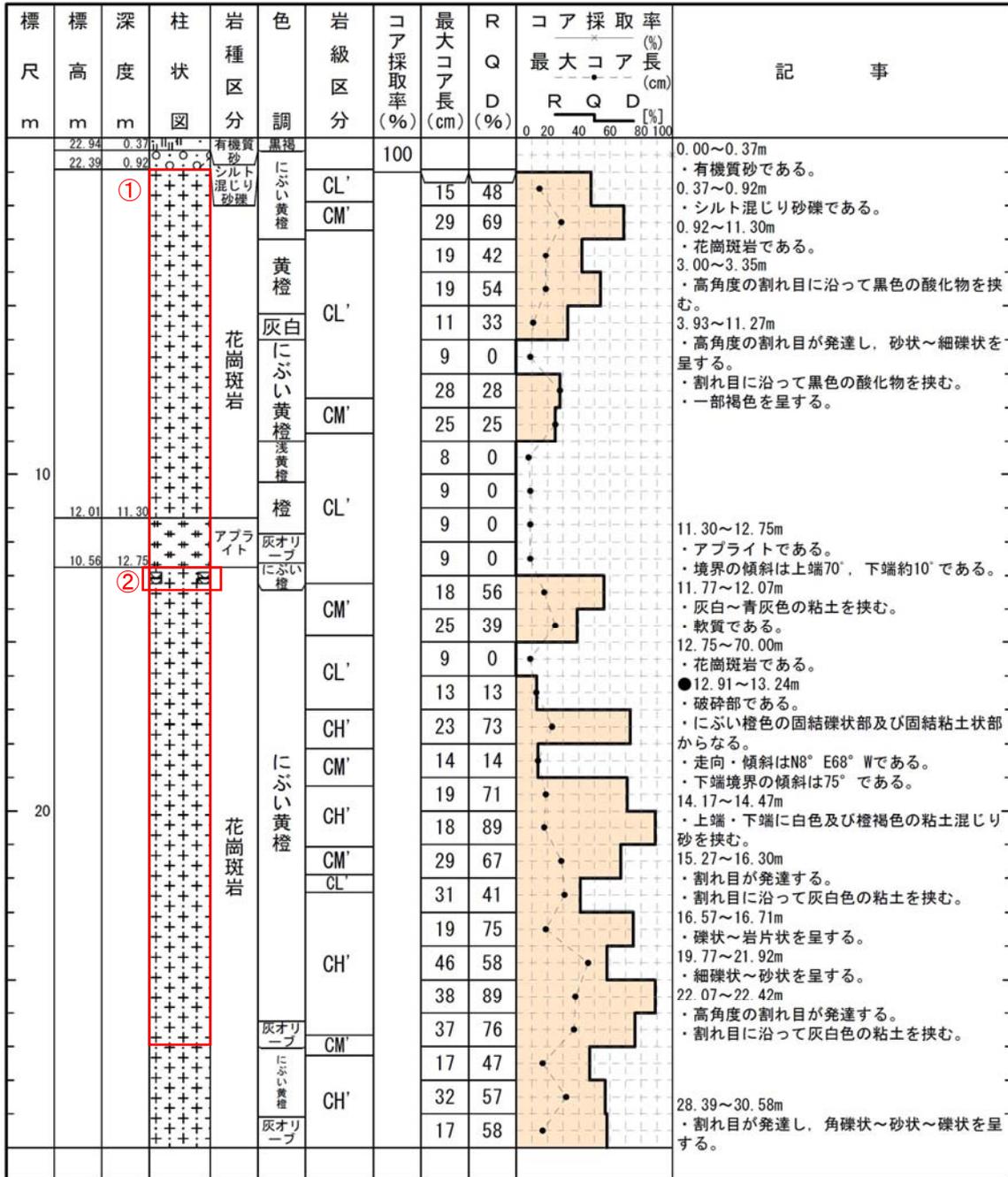
補足5-471

H27-Br-4

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-4

孔 口 標 高	T.P.	23.31m	掘 削 長	70.00m
---------	------	--------	-------	--------



- 1-366(分類c) ①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-367(分類d) ②
 記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

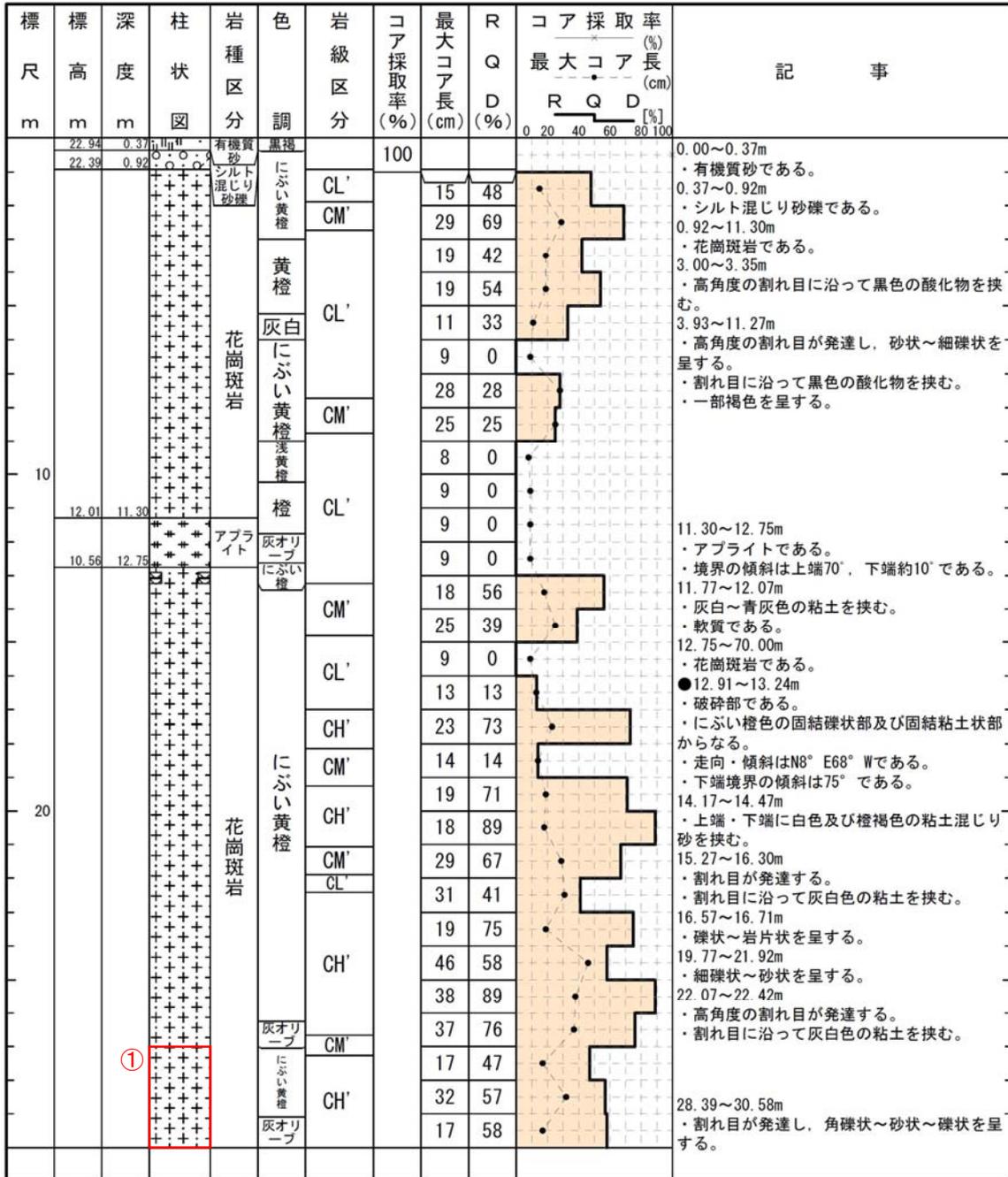
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位 / 測定月日 (N) 値	標準貫入 (試験) (N 値 ~ 深度) 図		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給送水圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水量 (MPa)	排水量 (L / 分)						
														0	50																
30			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	γ	β	2	28.39~28.42m: 割れ目が密集し、角礫状を呈する。 28.50~28.53m: 割れ目が密集し、幅2~10mmで砂状を呈する。	CM'		0	10			4/23	81												
																														17	47
																														32	57
																														47	58
																														43	58
																														43	58
																														78	58
																														31	79
																														37	88
																														39	80
																														9	82
																														40	
17	47																														
32	57																														
47	58																														
43	58																														
43	58																														
78	58																														
31	79																														
37	88																														
39	80																														
9	82																														
50			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	γ	β	2	34.58~34.63m: 幅0~3mmの褐色粘土を挟在する。 35.07~35.74m: 割れ目が網目状に発達する。	CM'		0	10			4/25	91			38.2	0.0	清水5	5						
																												17	47		
																												32	57		
																												47	58		
																												43	58		
																												43	58		
																												78	58		
																												31	79		
																												37	88		
																												39	80		
																												9	82		
																												60			花崗斑岩
17	47																														
32	57																														
47	58																														
43	58																														
43	58																														
78	58																														
31	79																														
37	88																														
39	80																														
9	82																														
60			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	γ	β	2	39.47~39.57m: 傾斜30~65°の割れ目が密に発達する。 40.21~40.23m: 傾斜45°の割れ目が集中する。	CM'		0	10			4/28	143			46.0	0.0	清水5	0						
																												17	47		
																												32	57		
																												47	58		
																												43	58		
																												43	58		
																												78	58		
																												31	79		
																												37	88		
																												39	80		
																												9	82		
																												60			花崗斑岩
17	47																														
32	57																														
47	58																														
43	58																														
43	58																														
78	58																														
31	79																														
37	88																														
39	80																														
9	82																														
60			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	γ	β	2	46.22m: 幅2~10mmで細礫状~砂状を呈する。 46.38~46.60m: 岩片状を呈する。	CM'		0	10			4/30	119			46.0	0.0	清水5	0						
																												17	47		
																												32	57		
																												47	58		
																												43	58		
																												43	58		
																												78	58		
																												31	79		
																												37	88		
																												39	80		
																												9	82		
																												60			花崗斑岩
17	47																														
32	57																														
47	58																														
43	58																														
43	58																														
78	58																														
31	79																														
37	88																														
39	80																														
9	82																														
60			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	γ	β	2	50.95~51.10m: 傾斜50°の割れ目が集中し、一部礫状を呈する。	CM'		0	10			4/30	119			46.0	0.0	清水5	0						
																												17	47		
																												32	57		
																												47	58		
																												43	58		
																												43	58		
																												78	58		
																												31	79		
																												37	88		
																												39	80		
																												9	82		
																												60			花崗斑岩
17	47																														
32	57																														
47	58																														
43	58																														
43	58																														
78	58																														
31	79																														
37	88																														
39	80																														
9	82																														
60			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	γ	β	2	54.74~56.27m: 傾斜20°と80°の割れ目が交差する。	CM'		0	10			4/30	119			46.0	0.0	清水5	0						
																												17	47		
																												32	57		
																												47	58		
																												43	58		
																												43	58		
																												78	58		
																												31	79		
																												37	88		
																												39	80		
																												9	82		
																												60			花崗斑岩
17	47																														
32	57																														
47	58																														
43	58																														
43	58																														
78	58																														
31	79																														
37	88																														
39	80																														
9	82																														
60			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	γ	β	2	62.00~62.41m: 傾斜65°の平行な割れ目が発達する。 62.21m: 幅1~2mmの褐色粘土を挟在する。	CM'		0	10			4/30	119			46.0	0.0	清水5	0						
																												17	47		
																												32	57		
																												47	58		
																												43	58		
																												43	58		
																												78	58		
																												31	79		
																												37	88		
																												39	80		
																												9	82		

H27-Br-4

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-4

孔 口 標 高	T.P.	23.31m	掘 削 長	70.00m
---------	------	--------	-------	--------

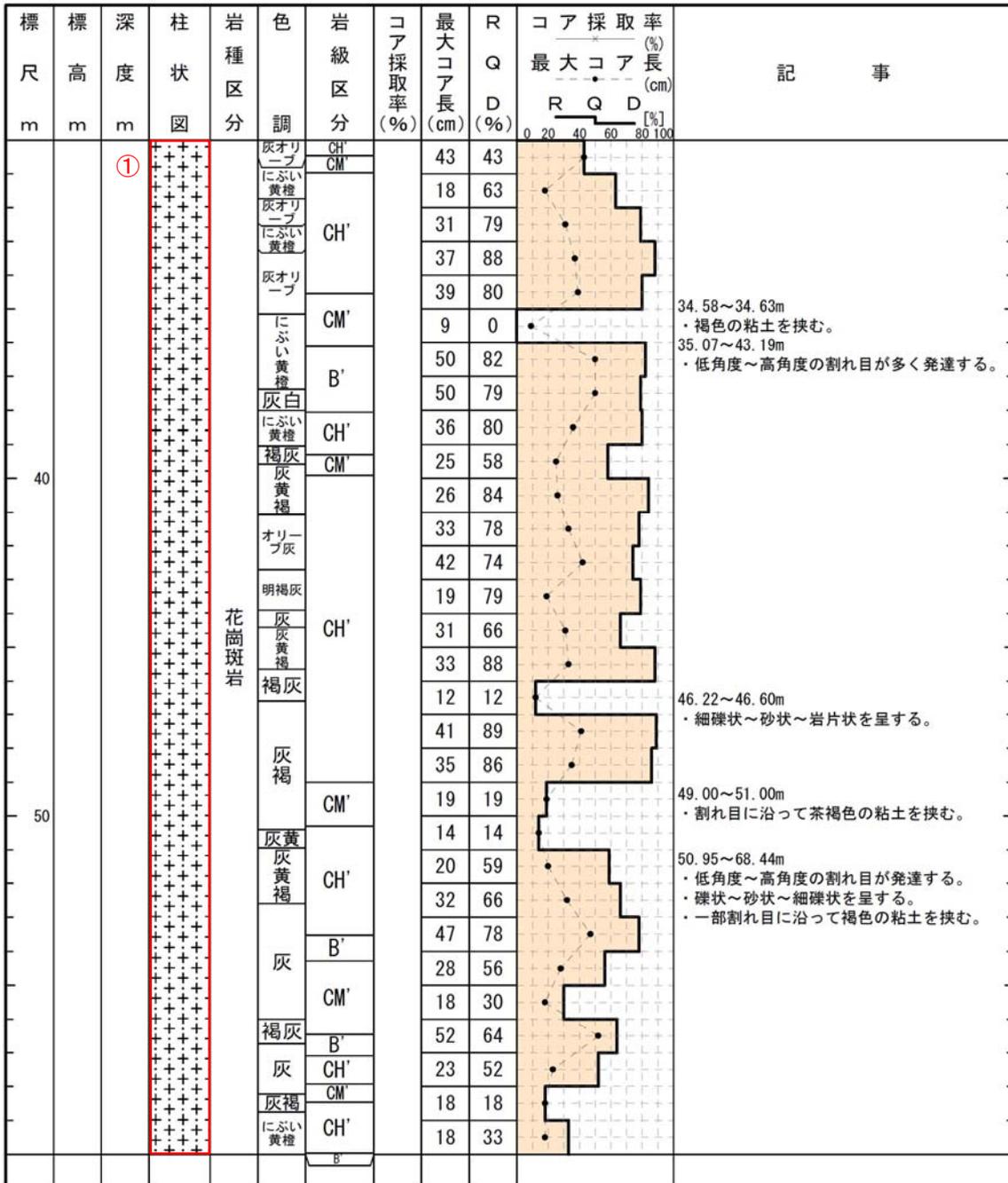


1-366(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位 / 測定月日 (N) 値	標準貫入 (N 値 ~ 深度) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給送水圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水量 (MPa)	排水量 (L / 分)																																																																																																																																																																																																																																																																																		
														(N 値)	(深度)																																																																																																																																																																																																																																																																																												
30			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	γ	2	28.39~28.42m: 割れ目が密集し、角礫状を呈する。 28.50~28.53m: 割れ目が密集し、幅2~10mmで砂状を呈する。	0 50 100 CM'	CH'		0 10 20 30 40 50				4/23	81																																																																																																																																																																																																																																																																																								
																														30		にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	30.51~30.58m: 砂~礫状を呈する。	CM'																																																																																																																																																																																																																																																																					
																																																									30		にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	34.58~34.63m: 幅0~3mmの褐色粘土を挟在する。 35.07~35.74m: 割れ目が網目状に発達する。	CM'																																																																																																																																																																																																																																										
																																																																																				30		にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	36.07~39.30m: 低角度の割れ目が主体となる。	CH'																																																																																																																																																																																																															
																																																																																																															30		にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	39.47~39.57m: 傾斜30~65°の割れ目が密に発達する。 40.21~40.23m: 傾斜45°の割れ目が集中する。	CH'																																																																																																																																																																																				
																																																																																																																																										30		にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	42.87~43.19m: 高角度の割れ目が集中する。	CH'																																																																																																																																																									
																																																																																																																																																																					30		にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	46.22m: 幅2~10mmで細礫状~砂状を呈する。 46.38~46.60m: 岩片状を呈する。	CH'																																																																																																																														
																																																																																																																																																																																																30		にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	49.00~51.00m: 鉛直に近い割れ目が続く。一部に幅1~3mmの砂混じり茶褐色粘土を挟在する。	CH'																																																																																																			
																																																																																																																																																																																																																											30		にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	50.95~51.10m: 傾斜50°の割れ目が集中し、一部礫状を呈する。	CH'																																																																								
																																																																																																																																																																																																																																																						30		にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	52.30m: 傾斜60°の割れ目に沿って幅3mmで砂状~細礫状を呈する。	CH'																																													
																																																																																																																																																																																																																																																																																	30		にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	54.74~56.27m: 傾斜20°と80°の割れ目が交差する。	CH'																		
30		にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	62.00~62.41m: 傾斜65°の平行な割れ目が発達する。 62.21m: 幅1~2mmの褐色粘土を挟在する。	CH'																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

H27-Br-4

柱状図(30.00m~60.00m)



1-366(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位 / 測定月日 (N) 値	標準貫入 (N 値 ~ 深度) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給送水圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水量 (MPa)	排水量 (L / 分)																																																																																																																																																																																																																																																																	
														標準貫入 (N 値 ~ 深度)	試験																																																																																																																																																																																																																																																																											
30			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	γ	2	28.39~28.42m: 割れ目が密集し、角礫状を呈する。 28.50~28.53m: 割れ目が密集し、幅2~10mmで砂状を呈する。	17 47 32 57 77 58 43 43 143 78 31 79 87 88 39 30	CM'		0	10			4/23	81																																																																																																																																																																																																																																																																							
																																30			にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	2	30.51~30.58m: 砂~礫状を呈する。	17 47 32 57 77 58 43 43 143 78 31 79 87 88 39 30	CM'		0	10			4/24	100			46.0	0.0	清水	7																																																																																																																																																																																																																																		
																																																									30			にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	2	34.58~34.63m: 幅0~3mmの褐色粘土を挟在する。 35.07~35.74m: 割れ目が網目状に発達する。	17 47 32 57 77 58 43 43 143 78 31 79 87 88 39 30	CM'		0	10			4/25	91			38.2	0.0	清水	5																																																																																																																																																																																																									
																																																																																		30			にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	2	36.07~39.30m: 低角度の割れ目が主体となる。	17 47 32 57 77 58 43 43 143 78 31 79 87 88 39 30	CM'		0	10			4/27	122			44.1	150	0.0	清水	3																																																																																																																																																																															
																																																																																																												30			にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	2	39.47~39.57m: 傾斜30~65°の割れ目が密に発達する。 40.21~40.23m: 傾斜45°の割れ目が集中する。	17 47 32 57 77 58 43 43 143 78 31 79 87 88 39 30	CM'		0	10			4/28	143			46.0	0.0	清水	0																																																																																																																																																						
																																																																																																																																					30			にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	2	42.87~43.19m: 高角度の割れ目が集中する。	17 47 32 57 77 58 43 43 143 78 31 79 87 88 39 30	CM'		0	10			4/29	123			46.0	0.0	清水	0																																																																																																																													
																																																																																																																																																														30			にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	2	46.22m: 幅2~10mmで細礫状~砂状を呈する。 46.38~46.60m: 岩片状を呈する。	17 47 32 57 77 58 43 43 143 78 31 79 87 88 39 30	CM'		0	10			4/29	123			46.0	0.0	清水	0																																																																																																				
																																																																																																																																																																																							30			にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	2	49.00~51.00m: 鉛直に近い割れ目が続く。一部に幅1~3mmの砂混じり茶褐色粘土を挟在する。	17 47 32 57 77 58 43 43 143 78 31 79 87 88 39 30	CM'		0	10			4/29	123			46.0	0.0	清水	0																																																																											
																																																																																																																																																																																																																30			にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	2	50.95~51.10m: 傾斜50°の割れ目が集中し、一部礫状を呈する。	17 47 32 57 77 58 43 43 143 78 31 79 87 88 39 30	CM'		0	10			4/29	123			46.0	0.0	清水	0																																																		
																																																																																																																																																																																																																																									30			にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	2	52.30m: 傾斜60°の割れ目に沿って幅3mmで砂状~細礫状を呈する。	17 47 32 57 77 58 43 43 143 78 31 79 87 88 39 30	CM'		0	10			4/29	123			46.0	0.0	清水	0																									
																																																																																																																																																																																																																																																																		30			にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	2	54.74~56.27m: 傾斜20°と80°の割れ目が交差する。	17 47 32 57 77 58 43 43 143 78 31 79 87 88 39 30	CM'		0	10			4/29	123			46.0	0.0	清水	0
30			にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β	2	62.00~62.41m: 傾斜65°の平行な割れ目が発達する。 62.21m: 幅1~2mmの褐色粘土を挟在する。	17 47 32 57 77 58 43 43 143 78 31 79 87 88 39 30	CM'		0	10			4/29	123			46.0	0.0	清水	0																																																																																																																																																																																																																																																																		

H27-Br-4

柱状図(60.00m~70.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]	長 (cm)	
		①		花崗斑岩	にぶい 黄橙 灰	B'		83	96				
					にぶい 褐 灰	CH'		58	80				
						CM'		17	27				
					にぶい 黄橙	CH'		18	23				
						CM'		17	45				
						CH'		4	0				
						CM'		32	32				
					褐灰 灰黄褐	B'		51	68				
					にぶい 黄橙	CH'		17	27				
		-46.69 70.00						16	16				

1-366(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

H27-Br-4

柱状図(60.00m~70.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア長 (cm)	R Q D [%]	長 (cm)	
		① -46.69 70.00		花崗斑岩	にぶい 黄橙 灰	B'		83	96				
					にぶい 褐 灰	CH'		58	80				
						CM'		17	27				
					にぶい 黄橙	CH'		18	23				
						CH'		17	45				
						CM'		4	0				
						CH'		32	32				
					褐灰 灰黄褐	CM'		51	68				
						B'		17	27				
					にぶい 黄橙	CH'		16	16				

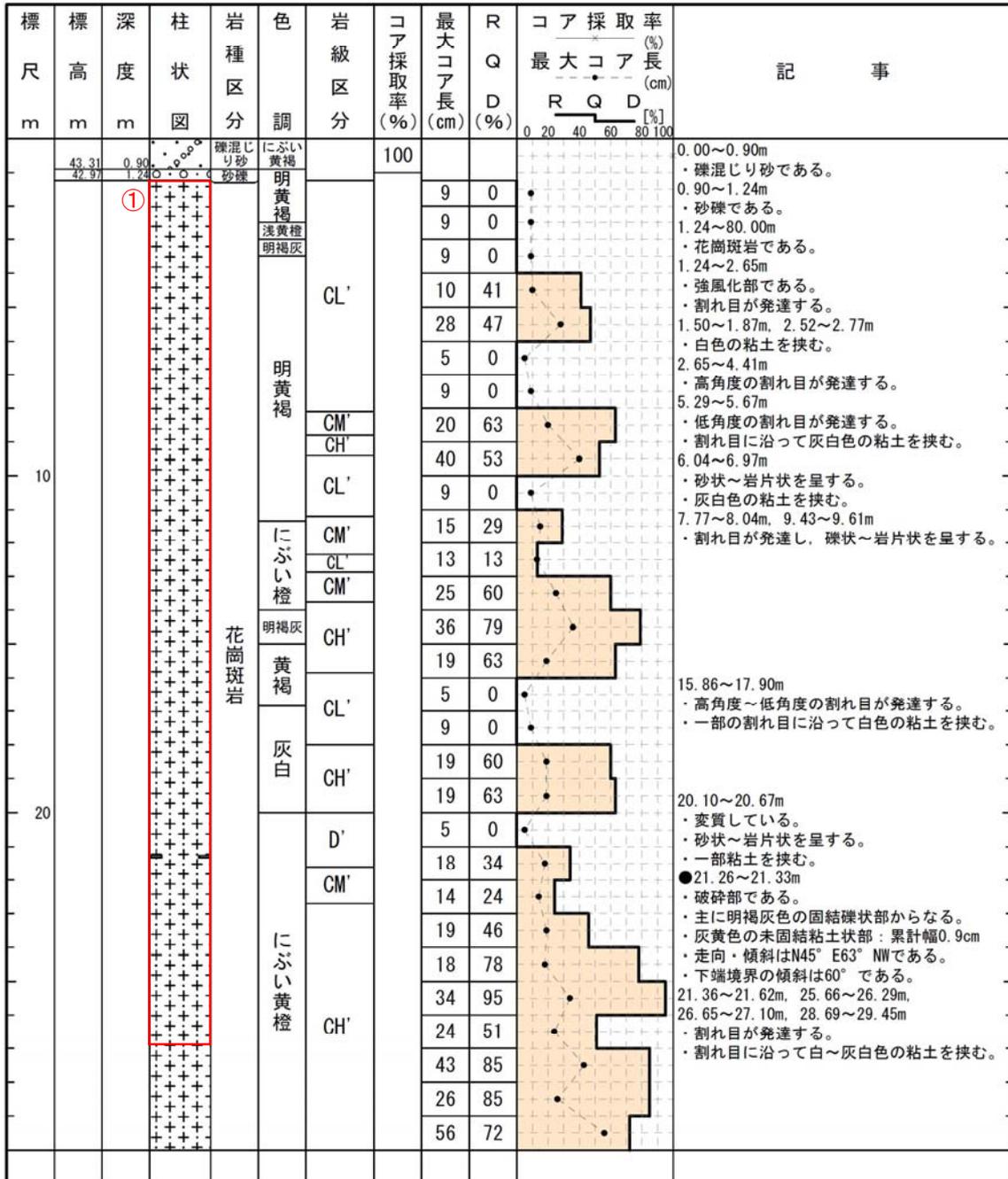
1-366(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

H27-Br-9

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-9

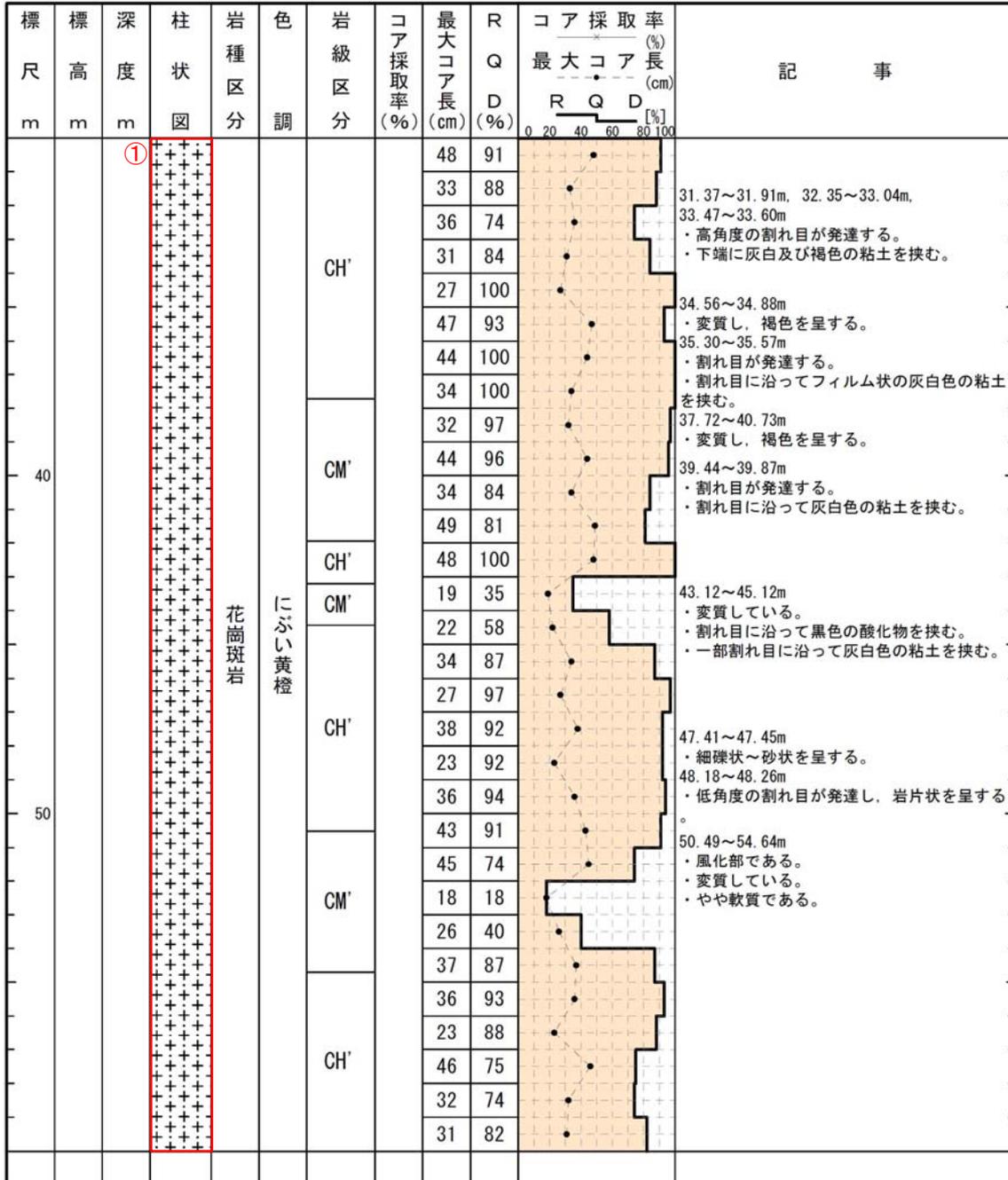
孔 口 標 高	T. P.	44.21m	掘 削 長	80.00m
---------	-------	--------	-------	--------



1-368(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

H27-Br-9

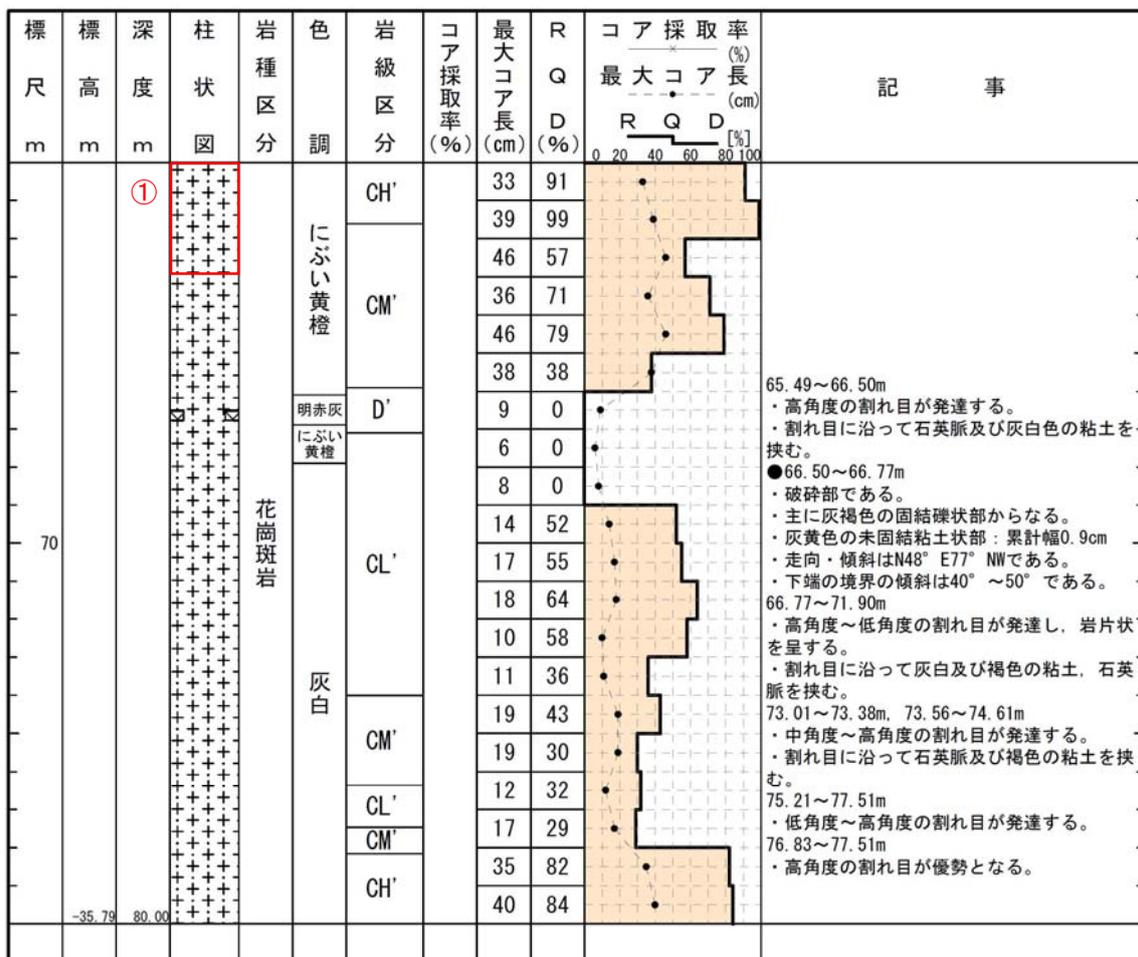
柱状図(30.00m~60.00m)



1-368(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

H27-Br-9

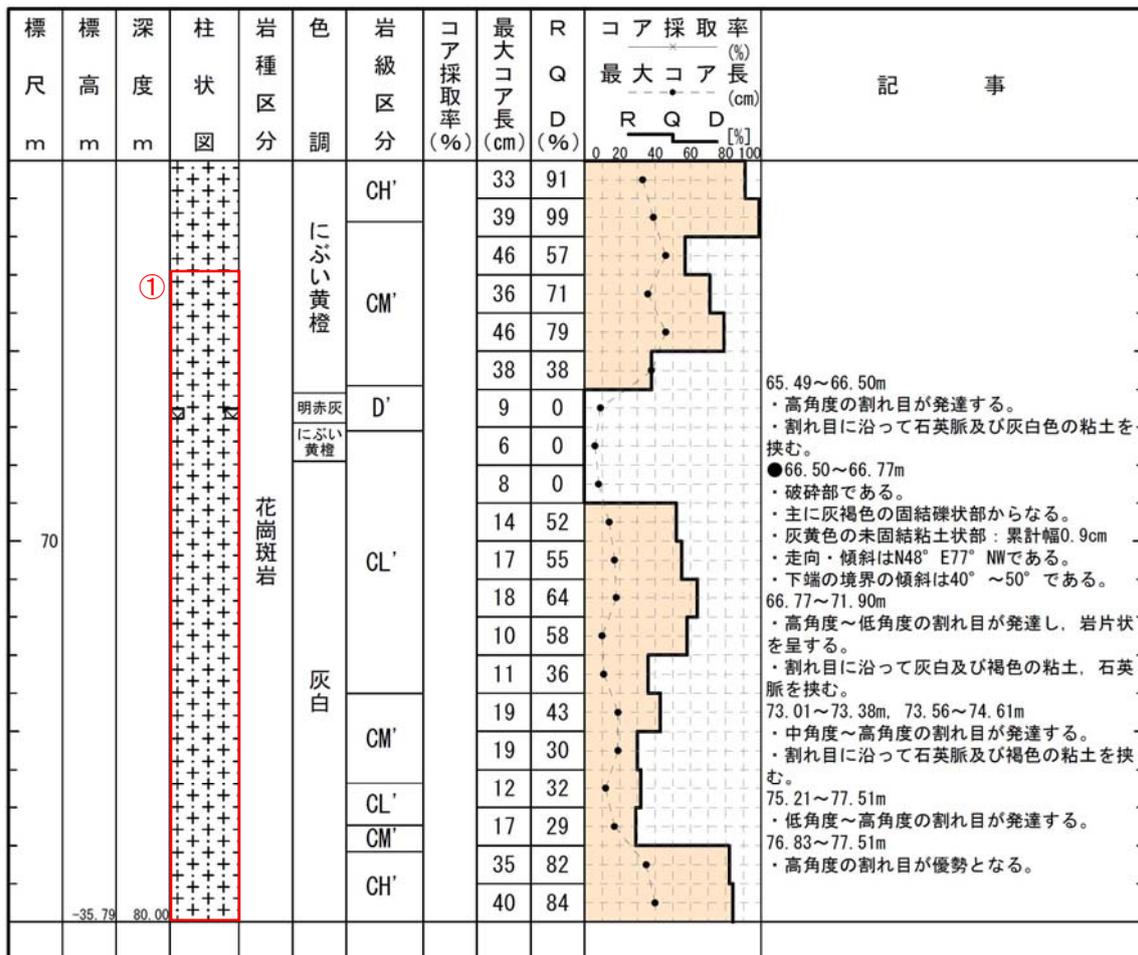
柱状図(60.00m~80.00m)



1-368(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

H27-Br-9

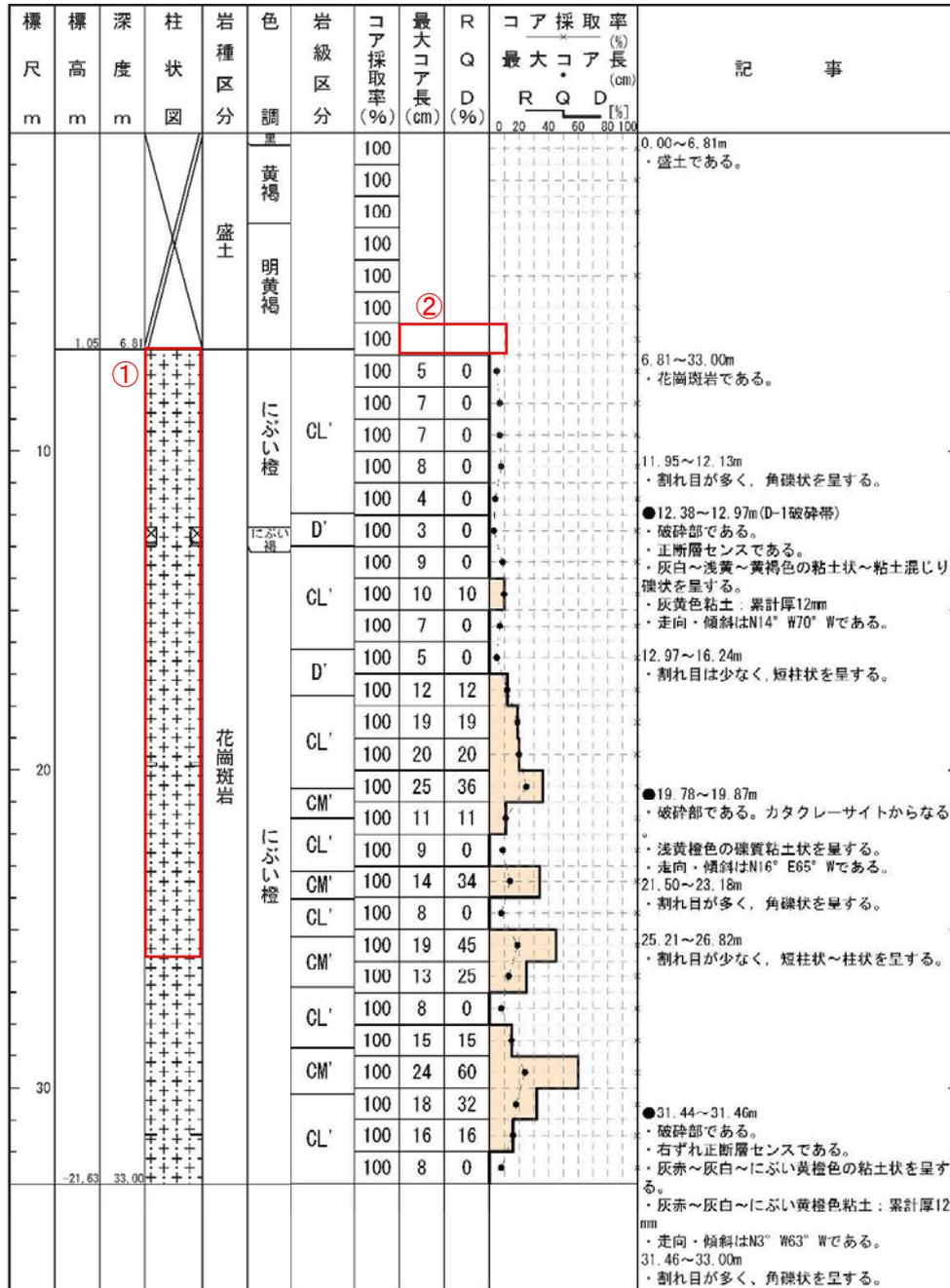
柱状図(60.00m~80.00m)



1-368(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

H24-D1-2

孔口標高	T.P.	6.95m	掘削長	33.00m
------	------	-------	-----	--------



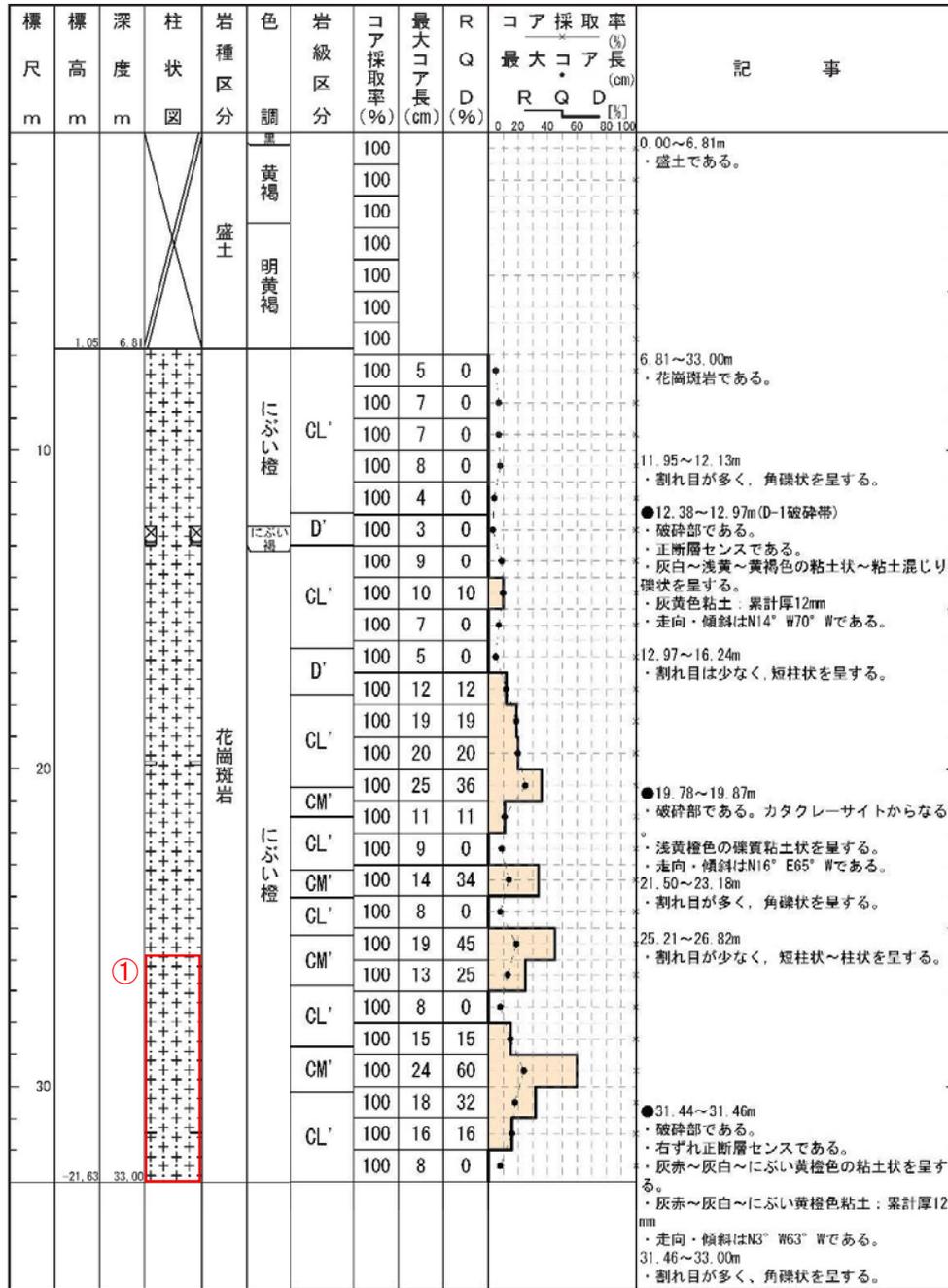
2-1(分類c)①
 申請書作成の際に模様を見直したため。
 2-2, 2-3(分類c)②
 基盤上限の1m未満の区間を省いたため。

6-7-4-1015

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	記号	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN · MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)			
														(N 値 ~ 深度) 図	(N 値)														
30	-21.63	33.00		花崗斑岩					2	<p>26.67m : 傾斜55°の割れ目に幅1mmの白色粘土を挟む。</p> <p>27.30~27.32m : 上下端60°の割れ目に沿って軟質となる。</p> <p>28.42~28.46m : 上端65°, 下端55°の割れ目に沿って細片化する。下端部が淡緑化し雲母が風出。</p> <p>30.20~31.44m : 互いに交差する傾斜30~60°の割れ目が分布し、短柱状コアが主体となる。岩片は硬質。</p> <p>30.68~30.75m : 上下端60°の割れ目間で、割れ目に白色粘土が挟在。</p> <p>●31.44~31.46m : 破砕帯 粘土状破砕部 (Hc-1)。上下端35°で直線的。幅10~12mm。径1~2mmの石英を含む。</p> <p>31.46~33.00m : 傾斜30~60°の割れ目。微細な割れ目が1~3cm間隔で分布し、岩片状を呈する。割れ目の一部には白~赤灰色の粘土を伴う。</p>	CM' CL' CM' CL'										3/22	95	86	ダブルコアチップ / ダイヤモンドビット	3.0	150	0.1	泥水6	6
									3										3/23	145		ダブルコアチップ / ダイヤモンドビット	2.5	150	0.1	泥水5	5		

H24-D1-2

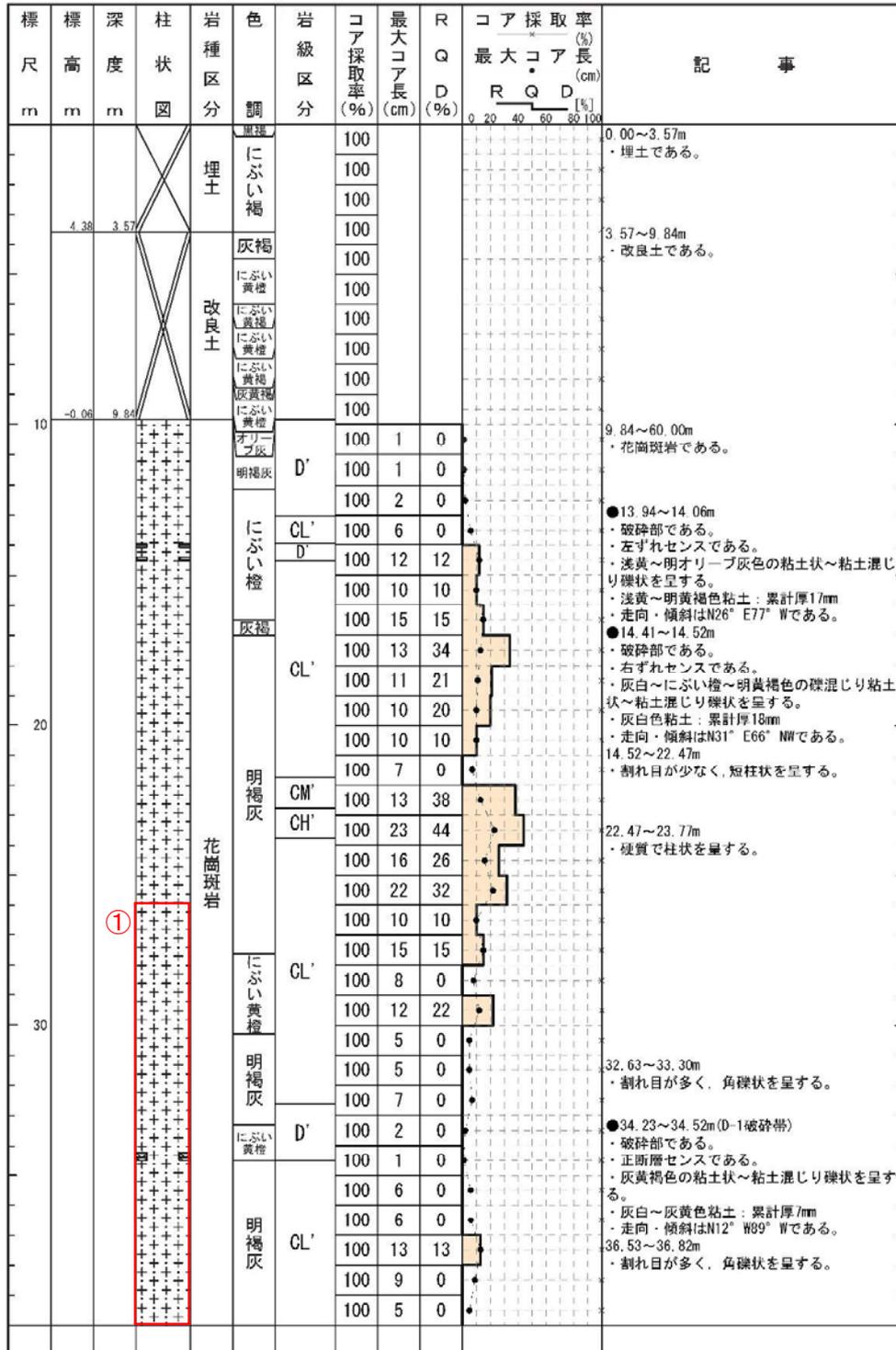
孔口標高	T.P.	6.95m	掘削長	33.00m
------	------	-------	-----	--------



2-1(分類c)①
申請書作成の際に模様を見直したため。

H24-D1-3

孔口標高	T.P.	6.90m	掘削長	60.00m
------	------	-------	-----	--------



2-4(分類c)①
申請書作成の際に模様を見直したため。

6-7-4-1016

第7.4.4.169図(1) D-1破砕帯 ボーリング調査結果(2号炉原子炉建屋付近) コア柱状図(H24-D1-3孔)

